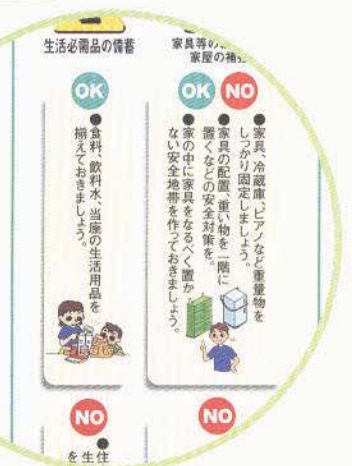


自主防災

地震災害に備えるためのコミュニケーション紙



自主防災 4

地域のか家と安全度チエック

家庭内と地域の防災対策をもう一度見直しましょう。

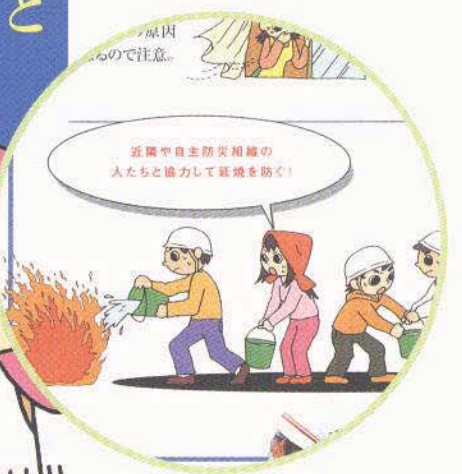
月には地震防災チエックシート



家庭編

チェック1 <input type="checkbox"/> 家具や家電製品はしっかりと固定している。	チェック10 <input type="checkbox"/> いざという時の家族の役割分担や連絡先を決めている。
チェック2 <input type="checkbox"/> ガラスの飛散防止や取柄物の落下防止をしている。	チェック11 <input type="checkbox"/> わが家の耐震診断をした。
チェック3 <input type="checkbox"/> 台所には消火器を備え、使い方も知っている。	チェック12 <input type="checkbox"/> ブロック塀の点検をした。
チェック4 <input type="checkbox"/> 地域で行う防災訓練に毎回参加している。	チェック13 <input type="checkbox"/> 防災資機材を備え、定期点検をしている。
チェック5 <input type="checkbox"/> 隣近所と緊急時の相談を十分に行っている。	チェック14 <input type="checkbox"/> 非常用の食料を7日分用意している。
チェック6 <input type="checkbox"/> 非常用持ち出し品を準備している。	チェック15 <input type="checkbox"/> 非常用の飲料水を3日分備蓄している。
チェック7 <input type="checkbox"/> 非常用の食料を7日分用意している。	
チェック8 <input type="checkbox"/> 非常用の飲料水を3日分備蓄している。	

※緑字で□の中をチェックしましょう。



はじめに

「自主防災」新聞は、昭和63年6月に発足した静岡県自主防災組織活動推進委員会における主要な事業の一つとして、同年9月に第1号を創刊して以来、自主防災組織を通じ各世帯に配布される防災情報コミュニケーション紙として、発行を重ねてきました。

この間、単色刷りからカラー刷りに変更し、発行部数も、自主防災組織や防災関係機関など各界からの強い希望により順次増やし、平成6年度からは全戸配布できるようになり、現在約128万部を発行いたしております。

推進委員会では、単に自主防災組織に対して情報を提供する機関紙的な紙面にとどまらず、広く県民の皆様が地震の基礎的知識を習得するための記事や防災の基本ともいえる家庭内対策の呼び掛け、「自らの命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」ための具体的な方策、県民の皆様からの投稿記事等を掲載し、「地震災害に備えるためのコミュニケーション紙」としての紙面づくりを心がけています。

今回、「自主防災」の第37号から第49号までの縮刷版を作成しましたので、日ごろの防災活動の参考にされ、地域における防災力強化に御活用ください。

平成14年3月

静岡県総務部防災局防災情報室長

小澤 邦雄

自 主 防 災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JISHU・BOUSAI

No. 37

◆編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ◆発行所/静岡県地震対策課 TEL.054-221-3592

平成9年(1997年)8月1日

見直そう、わが家の防災対策

9月1日(月)は「防災の日」

9月1日(月)は「防災の日」。
この日は、国・県・市町
村・学校・民間事業
所・自主防災組
織・家庭など、
全ての県民
が一体とな
り、県下齊
に「東海地
震」を想定
して、地震
予知の対応
から発災の
対応に至る一
連の訓練を美
施します。



とこの中で、下の
グラフは、今でもま
だ記憶に新しい阪神・淡
路大震災で亡くなった
方の死因別の状況を表
わしたものです。亡くな
った方の八割以上は、家
屋や家具の倒壊による
圧死や窒息死等となっ
ています。「自らの命は
自らで守る」ことが防災
対策の基本です。各家
庭でも、日頃から地震防
災対策に積極的に取り
組み、実践的な自主防災
活動を推進しましょう。

◆阪神・淡路大震災の死因別の状況◆

- その他 1.1%
 - 損傷、その他 2.9%
 - 焼骨 6.0%
 - 焼死、火傷死 4.3%
 - 出血、ショック死 2.0%
- 火災関係 (10.3%)



自治省消防庁災害対策本部
平成8年12月26日現在発表
死者数 6,425人

(資料提供:兵庫県警察本部)

阪神・淡路大震災では、テレビや家
具が一空を切つて飛んだといわれ家

タンス・食器棚・電化製品
大きな家具は、固定している



わが家は耐震診断を
している

東海地震の被害想定では、県内の
建物の大破・中破は四十五万棟に及
ぶと考えられています。
地震対策でまず必要なのは、わ
が家が地震に耐えられるかどうかを
知ることです。そこで、わが家の安全
を知るための「耐震診断」が必要にな
ります。

耐震診断は、家庭内対策の大事な
第一歩です。耐震診断の方法については、
県や市町村のパンフレットを活用して
ください。診断の結果、補強が必要な
場合は、建築士、建築業者、大工さん
等と十分相談して下さい。

具の転倒で死傷したり、延焼火災から
逃げられなかった人が多数いました。
どんなに建物を丈夫にしても、タンス
や食器棚が倒れてけがをしては何に
もなりません。倒れそうな家具はしっ
かり止め、まず家族の安全を確保し
ましょう。



家族の食料、飲料水の
備蓄は、確保している

突然地震が起きて、食料の蓄えが全
くなくなったら...

いざというときには、食料品等を商
店やスーパーマーケットで購入するこ
とがほとんどできません。また、発災直
後は、食料な
どの輸送も満
足にできません。
救援活動
が開始される
までの間の食
料や飲料水は、
各家庭で蓄え



ておく必要があります。各家庭では、
水三日分、食料七日分の備蓄を励行
してください。

地震発生時の役割り分担や
連絡方法を決めている

発災直後は、相当な混乱が予想さ
れるため、冷静で適切な判断と行動
が強く求められます。そこで、落ち着
いて行動できるようにするために、
あらかじめ誰が何をするか、避難の必
要のある時はどこに逃げるかなど、よ
く確認しておくことが大切です。また、
家族間の安否を確認する方法もあら
かじめ決めておきましょう。

一面三面は、
「家具の固定」特集です。



防災チェック?!

あなたの家は大丈夫?

家具の固定

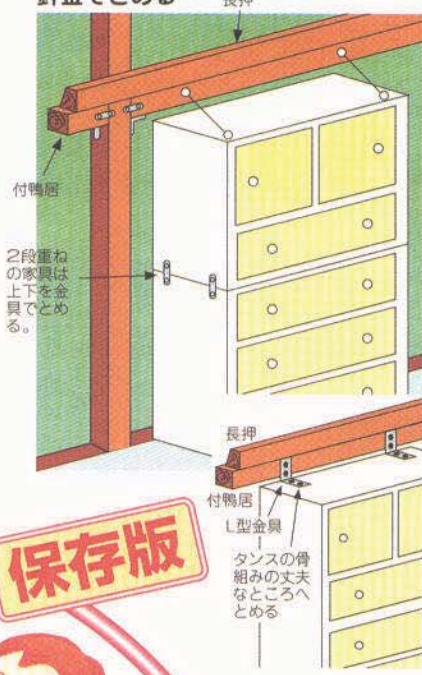
家族みんなで力を合わせて

家庭内地震対策

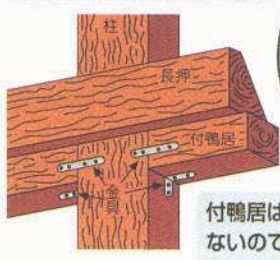
保存版



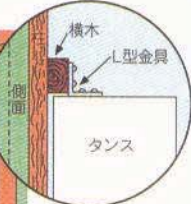
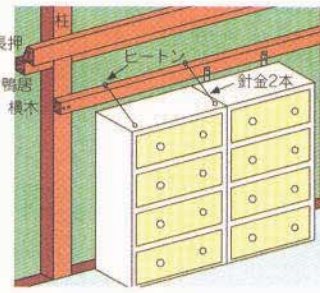
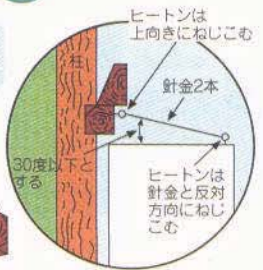
針金でとめる



背の高い家具は、鴨居に針金やL形金具でとめる

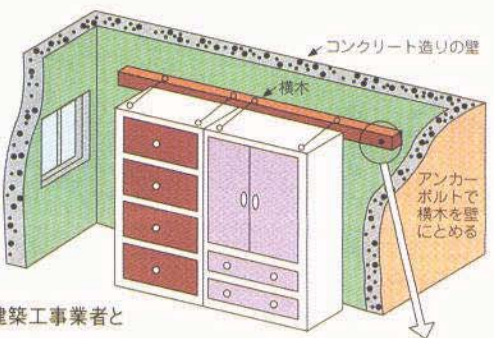


付鴨居は柱にしっかり固定されていないので、必ず金具で柱にとめる。

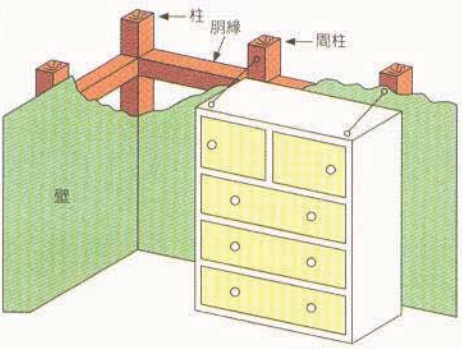


背の低い家具は、柱に横木をわたしてとめる

鉄筋コンクリート造りの住宅の場合壁に横木を取付けてそれに家具をとめる。



※横木のとりつけは建築工事業者と相談して下さい。



柱の見えない壁を背にして家具をとめる場合は、壁をたたいて中の間柱や縦線のあるところをみつけて、ヒートンや金具でとめる。

家具の固定については、阪神・淡路大震災で、転倒による死傷のほか、家具の下敷きになり、避難できずに延焼火災の犠牲となったケースが多く発生したと言われ、今あらためてその重要性が叫ばれています。(二面の円グラフ参照)

家具の固定は、だれでもできる比較的簡単な作業ですが、安全性確保の効果は非常に大きいのです。

みなさんのちよつとした工夫や日曜大工で

浦原町 自主防災会の歩みと家庭防災対策



浦原町 信澤正男委員

防災会も年次を経ると共に防災資機材など充実してきました。昭和五十八年には町よりC1級可搬式ポンプが貸与され防災訓練も意気込みが変りました。平成五年九月二日には夜間訓練を実施しました。夜八時より区内放送で訓練を呼びかけ、避難通路の街灯を全部消灯、暗闇の中を誘導班の引率で訓練会場に速やかに移動、避難者到着後発電機で投光器を点灯させるといふ訓練でした。平成八年九月二日には土のう造りと土のう積みを取り入れた訓練を行いました。十一月の地域防災訓練では「反合同演習」で八幡町、天王町の夜間救出訓練を実施しました。

「自分の命は自分で守る」が基本です。そのため、各地区各防災会では、訓練方法を工夫したり、家庭

堀野市 危機感迫る身体障害者初の防災研修と訓練を体験

西から東から自主防災活動リポート



静岡県地震防災センター



夏休み地震防災イベントのお知らせ

夏休みに楽しみながら地震についていろいろ勉強してみませんか。地震防災センターでは下記のようなイベントを企画しています。皆様の参加をお待ちしています。

●親子防災教室●

8/9(土) 午後1時～午後4時
センター見学(体験コーナー等)・非常食の表演と試食会・パケツリ・担架作り・地震カルタ大会など、楽しみながら学べます。(雨天の場合、多少変更になります。)
対象は県内在住又は在学の小学生及び保護者。
TEL先着順各日30名

●児童防災教室●

8/21(木) 県民の日
午前9時30分～正午 午後1時30分～午後4時
センター見学(体験コーナー等)・非常食の表演と試食会・防災ビデオ・地震クイズなど、楽しみながら学べます。
対象は県内在住又は在学の小学生及び保護者。(小学生のみでも可)TEL先着順 各50名

●地震映画会●

8/3(日) 8/10(日) 8/17(日) 8/24(日) 8/31(日)
午前11時～ 午後2時～ 対象は個人来館者。
詳細はお問い合わせ下さい。

●自由研究相談●

夏休み期間中の午前9時～午後4時小・中学生を対象に、地震や防災についての資料提供、質疑応答をします。

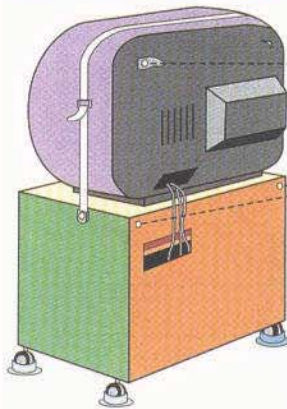
●地震防災ポスター募集●

県内在住又は在学の小・中学生を対象に、ポスターを募集します。作品(四つ切り以上の白画用紙)の裏に住所・氏名・学校名・学年・電話番号を明記し県行政センターへ郵送又は持参して下さい。締め切りは9月9日(火)

●お申し込み・お問い合わせ●

静岡県地震防災センター 054-251-7100
*開館時間/午前9時～午後4時 入館無料
*休館日/毎週月曜日、年末年始

テレビのとめ方



壁側の柱に
ねじ込む

テレビの置き台にキャスター(車輪)がついている場合はストッパーをかけ、車輪止めをはかせます。次に、家具固定用ベルトなどで、テレビと置き台を固定します。最後に、テレビ本体裏側のしっかりしたネジや針金を通せる穴を探して、そこを柱をビニールチューブに入れた針金・ヒートンを使ってとめます。

食器棚のとめ方

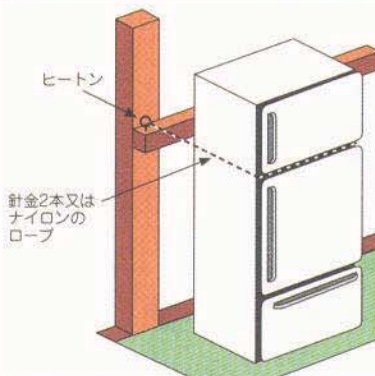


やわらかい敷物を
中のものがすべり
ないようにする

さんをつけて、中
が倒れないように

木やアルミの材

冷蔵庫のとめ方



背面の取っ手に丈夫な
ベルトなどを渡し、壁・
柱などの丈夫なところ
に取付けてください。

冷蔵庫の裏側にしっかりとしたネジがあれば、そこに金具を取付け、針金2本とめます。2ドアの冷蔵庫は、壁や柱にヒートンとビニールチューブに入った針金2本または直径5mm程度のナイロンテープで扉の間を脚巻にしてとめます。

電気製品は、感電・漏電や機器の性能に支障がないよう注意する必要があります。固定作業の方法は、販売店やメーカーに相談してください。

家具を固定するために用意するもの

家具の固定には、L型金具・ベルト付き金具・鎖付き金具・針金と、これらをとめる鉄製木ネジ・鉄製ヒートンを使います。家具の大きさや形、柱との距離に応じて適当なものを選びましょう。



針金またはワイヤー 横木 タガ(仮止めクギ) 粘着テープ 鉛筆 電動ドリルドライバー ドライバースセット
キリ ペンチ ニッパ ノコギリ 巻尺 壁裏センサー 金ツチ

も安全対策力を高める
そこで、今回は、家庭内
地震対策として、家具
の固定をわかりやすく
解説してみました。

平成9年度地震防災標語入選作品

地震防災強化月間用
地震は瞬間 備えは習慣
我が家は 家族みんなが 防災委員
日ごろから 備えの心 大切に
天災警報 戸締り 備えを高めて
津波対策推進週間用
身につけよう 津波のときの
素早い避難
無視無断 津波は 避難の心で
伊東市 高橋をどり 城ヶ崎2年

浜松市 我が町の自主防活動

浜松市入野地区では、自主防活動の活性化を促進するため、数年前から自主防消防本部による出初め式が正月元日に行われていました。各自治会より十の自主防災隊の消防部員が同じ集い、空中高く吊るした提灯目掛けて、斉に放水し、素早く落下させる「提灯落とし」と呼ばれる競技を通じ、消火技術を競い合っています。
各自主防災隊の皆さんは出初め式終了後は「賞品」や「参加賞」を土産に、各自治会ごとに自主防災隊新年会を開き、地域の安全と自主防災隊員の結束を誓い合っています。
またこの出初め式での競技にそなえ、各自主防災隊の消防部員は月例訓練を行うなど、次年度の上位入賞を目指して訓練に励んでいます。
(浜松市 井ノ口泰二委員)

青山茂次委員



防災クロスワードパズル

防災のことを学びながら、クイズに挑戦してみよう。
オリジナルテレホンカードが10名様に当たります。

- タテのカギ**
- 1 「自主防災」新聞は地震対策をおもに○○○にしています。
 - 2 日頃からこれの扱い方くらいは心得ておきましょう。
 - 3 いざという時に備え、家族で最低限のものを用意しておきましょう。
 - 4 「構造」の建物が増えています。
 - 5 ○○○○6強では固定してない重い家具のほとんどが移動・転倒します。人は立っていることができず、防災訓練では、受けとる○○○○○、提供する○○○○○を正確に迅速に伝達できる訓練も行います。
- ヨコのカギ**
- 1 日頃の準備や素早い行動を身につける訓練。
 - 2 静岡県は○○○○○強化地域です。
 - 3 一人1日3の○○○○○が必要で、三分は用意しておきましょう。
 - 4 倒れそうな家具はこの対策を。
 - 5 東海地震はエーシア○○○○○がフィリピン海○○○○○の下にもぐりこむことにより起ると考えられています。
 - 6 ○○○○に合わせ、ラジオ、テレビで正確な情報を。
 - 7 地震の大きさを示す単位。
 - 8 家屋の耐震○○○○○をおさしつ。
 - 9 被害時の頼れる情報源。
 - 10 危険と思われる門柱やプロツク柄は○○○○○を。
 - 11 被害の大きさを推し計ること。県では予知ありと予知なしの場合○○○○○しています。

クイズの答え

A	B	C	D
住所			
氏名			
年齢			
職業			
電話番号			
感想			

オリジナルテレホンカード

（財）静岡県防災情報研究所・地震防災センターホームページ開設のお知らせ

DIPICS
静岡県防災情報研究所

「財」静岡県防災情報研究所は、静岡県防災センターと協力して、地震防災に関する情報提供のため、インターネットにホームページを開設しました。内容は百ページ以上にわたり、地震防災専門のホームページとしては全国的にも例のないものです。

■ホームページのおもな内容

- （1）静岡県地震防災センターの案内
- （2）静岡県防災情報研究所の案内
- （3）地震はなぜ起こるのか
- （4）地震対策情報
- （5）電子防災図書館
- （6）地震情報ホットライン

研究所ホームページアドレス
<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp>

（財）静岡県防災情報研究所は、静岡県防災センターと協力して、地震防災に関する情報提供のため、インターネットにホームページを開設しました。内容は百ページ以上にわたり、地震防災専門のホームページとしては全国的にも例のないものです。

■ホームページのおもな内容

- （1）静岡県地震防災センターの案内
- （2）静岡県防災情報研究所の案内
- （3）地震はなぜ起こるのか
- （4）地震対策情報
- （5）電子防災図書館
- （6）地震情報ホットライン

静岡県自主防災組織活動推進委員会 本年度の委員は私たちです

静岡県地震防災センター

◆写真右から

- 青山 茂次 (蒲原町)
- 鈴木 恒就 (静岡市)
- 角ヶ谷 昇 (袋井市)
- 信澤 正男 (裾野市)
- 小笠原 登 (富士宮市)
- 土屋 良一 (熱海市)
- 野沢 正司 (天竜市)
- 池田 耕三 (焼津市)
- 堤 實 (西伊豆町)
- 井ノ口 泰二 (浜松市)

「かんぱくサイバイバル」に参加してみませんか!

テレビやラジオ、新聞などで、伝えられているように、東海地震がいつ起きても不思議ではない状況です。

県では、小中学生・高校生を対象に、気軽に楽しい震災模擬野外訓練を、ボーイスカウト静岡県連盟とガールスカウト静岡県支部の協力で、年二回県下二十四地区で実施しています。是非、第二回(十月十二日(土)十三日(日)実施)の訓練に参加してみてください。

人命救助法や救急処置法を学んだり、簡単なテント・トイレを造ったり、また火をおこしての非常食体験をするなど、災害時に役立つ様々な訓練を行います。参加費は無料ですので、友達を誘ってみんなでチャレンジしましょう。

実施会場は、学校・公園・広場など、お住まいの市町村によって異なりますので、詳しくはボーイスカウト静岡県連盟事務局までお問い合わせください。

電話：〇五四一・五五二・八八五

編集後記

本年度の自主防災組織活動推進委員会の年間テーマは、「危機感を持った実践的行動」に決まりました。この「自主防災」新聞もこのテーマにそって編集することとなります。

東海地震の発生が間近に迫っていることは、地震学者の致した意見です。予知が必ずしも正しいと見られる現在、突然起る地震にたいして常に備えるようにしておくことが必要です。

今年は、自主防災新聞の発行が回となり、より、増光した紙面に各所に配布いたします。皆様の意見、提案等投稿いただければうれしく思います。

編集長

自 主 防 災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JISHU・BOUSAI

No. 38

◆編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ◆発行所/静岡県地震対策課 TEL.054-221-3592

平成9年(1997年)11月

アッ地震だ! その時のために。

いつ起きても不思議ではない東海地震。現段階では、その予知が難しいといわれる状況にあるだけに、突発地震に備える心がまえや、日頃からの訓練が大切ですね。
阪神・淡路大震災でも「その時、何もできなかった。」と答えた人が三分の二にも達しています。いつという時、どうし

行動をとるかが生死を分けます。
地震が起これば自らの身の安全を守る、避難するなどの行動だけでなく、初期消火そして被害者の救出・救助などを行わざるを得なくなります。日頃から、準備と訓練に心掛けま

地震だ!

5分後
ラジオをつけろ!
電話はなるべく使わない!
緊急連絡電話を優先!
●市町村、自主防災組織の情報を確認
●デマにまどわされない!

危険 ●車ににげるな ●ブロック塀、がれきに注意

3秒後
●落ち着け!
●身を守れ!
●火を消せ!

10分~数時間
協力して消火活動しよう
協力して救出活動しよう
●自主防災組織・自治会・事業所
●救出困難な現場は消防署などへ要請する

1~2分後
揺れがおさまった
津波、山・崖崩れの危険が予想される
地域はすぐ避難
●火元を確認! 火が出て、落ち着いて初期消火
●家族はだいじょうぶか!
●靴を履く! 家の中も危険物でいっぱい

3日
●水・食料は備蓄でまかなえ
●災害情報・広報を入手
●こわれた家に入るな
●無理はやめよう!
●助け合いの心を持とう
●がまんも大切

3分後
みんな無事か?
●隣近所に声をかけよう
近くに火は出ていないか?
●大声で知らせる ●消火器を使い ●バケツリレーだ
●隣近所で助けあう!
●見つからない人はいないか?
●けが人はいないか?
●漏電・ガス漏れに注意!
●余震に注意!

※切り取って、見えるところへ貼っておきましょう。

12月7日(日)は、
地域防災の日
二面、三面に
特集ページを
用意しました。

東海地震が突然発生した場合の被害想定結果と阪神・淡路大震災を比べて見ますと、右表のように人的被害(死傷者は約2倍と考えられています。また、物的被害(建物破壊)も45万棟で約2倍と考えられ、その被害が甚大なることが予想されます。

項目	阪神・淡路大震災	東海地震被害想定 (1997年)
県人口	546万6千人	368万6千人
マグニチュード	7.2	8.0
震度7の区域	約30平方キロメートル	約100平方キロメートル
人的被害(死傷者)	約4万9千人	約9万4千人
物的被害 (建物倒壊(大・中))	約21万棟	約45万棟
津波被害	なし	あり(死者約500人)
電 気	7日	12日
都市ガス	約3ヶ月	1ヶ月程度
水 道	約3ヶ月	1ヶ月程度
電 話	15日	12日

東海地震が発生した場合どのような被害が発生するのでしょうか。静岡県では、東海地震対策や県民に対する危険度の指標として活用するため、東海地震の発生による被害の想定を行っています。

東海地震の被害想定
— 阪神・淡路大震災との比較 —

の防災訓練に参加を!

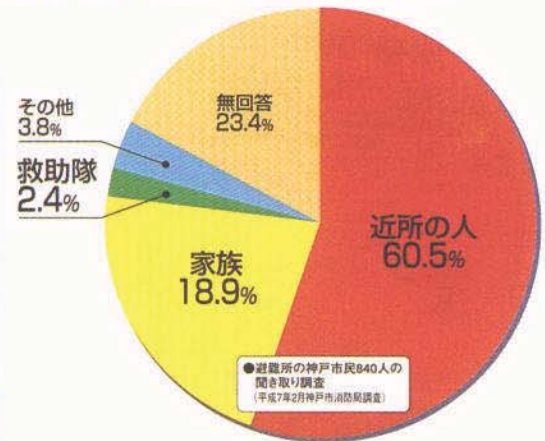


8日、神戸市灘区＝神戸新聞社提供

円グラフが示すように、阪神淡路大震災では、救出・救助のほとんどは、近所の人(60.5%)と家族(18.9%)でした。

消防や自衛隊による救出は、わずかに2.4%にすぎませんでした。消防や警察、自衛隊は、阪神・淡路大震災のような広域同時多発型の災害には、機能しにくいことを意味しています。

阪神・淡路大震災で救出・救助に当たったのは近所の人・家族が79.4%です。



頼りになるのは、近所の人たち!



■倒れた家屋から被害者運び出す(1月17日、神戸市灘区)＝神戸新聞社提供

「地域防災の日」は、突然、大地震が発生したことを想定して、各市町村単位で、自主防災組織を中心に、避難、消火、救出、救助活動などの一連の

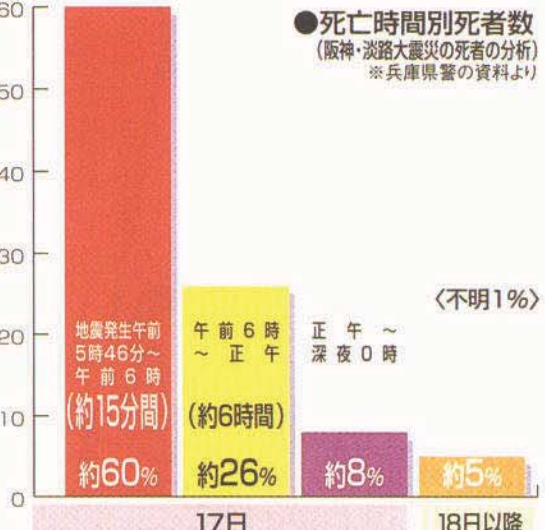


12月7日(日)の「地域防災の日」は、突然、大地震が発生したことを想定して、各市町村単位で、自主防災組織を中心に、避難、消火、救出、救助活動などの一連の

右のグラフからもわかるように、阪神・淡路大震災では、発災後15分間で約60%、6時間間で約86%の人が亡くなっています。

防災訓練に参加しよう!

発生を前提にした地域をあげての組織的で迅速な救出・救助活動の推進です。



- 最も必要な訓練
 - ①倒壊家屋からの迅速な救出・救助訓練
 - ②ハルルなど救出の道具の使用
 - ③救出・救助に当たっての応急手当の習得
 - ④隣近所での初期消火訓練
- 個人、近隣レベルで救出・救助活動に役立つ道具
 - タール、軍手、懐中電灯、ペン

(財)静岡県防災情報研 究所だより

「地震予知は日本の悲願、チャレンジに値する先端的研究」
東大地震研教授阿部勝征氏が講演

8月8日、地震防災センターに、地震防災対策強化地域判定会委員である阿部勝征東京大学地震研究所教授を迎え、「地震予知の現状」をテーマに地震防災公開講座を開きました。

日本は地震多発国であり、過去に多くの被害を経験してきた多くの人命や財産を失ってきたことを取り上げ、「地震予知は国民の悲願であり、研究者にとってチャレンジに値する先端的研究である」と力説し、「日本各地での地震予知は難しいものの、予知観測体制をとっている東海地域に限っては、前兆現象を捕えることができれば予知の可能性がある」とし、観測体制の層の充実を強調しました。

しかし、「地震の直前予知は難しいことであり、予知の幻想にとらわれず、突然発生した場合にも備え、積極的に地震防災を進めてほしい」と訴えました。

会場には県民や防災関係者ら、約300人が集まり、熱心に聴き入っていました。

お知らせ

- 『97防災シンポジウムin伊東』
「自然の恵みとの共存を考える」
日時/平成9年11月11日(火)
13時30分～
会場/伊東市観光会館
(伊東市和田1-16-1)
- 基調講演
「伊豆半島東方沖群発地震とソマ活動」
講師/地震防災対策強化地域判定会会長
溝上 恵 氏
- ハルルデスカッション
テーマ「自然の恵みとの共存を考える」
11月11日(火) 13時30分～
会場/伊東市観光会館
(伊東市和田1-16-1)



12月7日は、地域

いざという時のために“訓練の日”を機会に準備や再点検をしておきましょう。

非常持ち出し品

避難時、すぐ持ち出せる場所に保管し、家族の人数に合わせて用意しましょう。当面生活できるだけの食料・飲料水・日用品・貴重品(お金)も用意しましょう。

屋外避難も想定してテントやビニールシートも!

このほかにも生理用品、めがね、入れ歯、常備薬など、各自に必要なものを忘れずに!

あなたのご家庭での「非常持ち出し品」をチェックしてみてください。

◆すぐに持ち出す最優先のもの、優先のもの等に区別して準備しましょう。

- 家族3日分の食料
- 飲料水
- 手ぶくろ
- ナイフ・缶切り
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 予備の電池
- 防災頭巾
- ヘルメット
- タオル
- ロウソク
- 下着類
- マッチ
- 毛布
- メガネ
- 救急薬品
- 現金
- 預金通帳・印鑑
- 処方薬
- ちり紙

家族3日分の食料



※切り取って、見るところへ貼っておきましょう。

あるとさらに役立つ防災グッズ

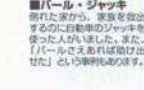
(阪神・淡路大震災で大活躍!)



■ビニールシート
大型ビニールシートは、中央部に穴を開け、肩からすっぽりかぶるレイアウトに、段ボール箱の中に重ねて保管しておくと、また、その厚みに使えます。火災の際、空気を入り替えてかぶると熱を吸わずに避難できると言われています。サイズの小さいちもの何枚かと便利。



■ウェットティッシュ
水が不足しているとき、手が汚れた物を拭いたり、傷口を拭いたり、サニタリー用品にも使えます。ビニールシートに貼って持ち出せば便利です。



■バル・ジャッキ
車に搭載して、車輪を固定するのにも使えます。また、「バル」でいえば「バル」のジャッキも便利です。



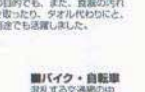
■ラップ
食料にかぶせて、食料の乾燥を防ぎ、食料の新鮮さを保ちます。水が不足しているときや紙の容器が壊れたときに活用できます。



■トイレットペーパー
本家のトイレットペーパーでも、また、食料の汚染を防ぐために、トイレットペーパーの別の用途でも活用しました。



■マスク
救急・救助の際の粉塵を吸い止めるために、マスクも持っておくと便利です。



■バイク・自転車
避難する際の移動手段として、機動性を発揮しました。

食料・飲料水の備蓄

災害が発生した場合道路や水道施設は破損し、また行政による救助活動もすぐには行われません。そのため、各家庭において7日程度は生活できるように、食料・飲料水の備蓄をして下さい。食料は非常食3日分を含む7日分を、飲料水については、1人1日3リットルを3日分備蓄するようにして下さい。



●飲料水の備蓄
1人1日3リットルの水を最低3日分用意する。



●食料の備蓄
食料は非常食3日分を含む7日分程度の食料を準備しておく。
●食料品の点検入れ替えを忘れない。



住民が協力して崩壊家屋から救出

訓練は、それぞれの地域の特性を活かして実施し、いざという時に備えた防災活動を身につけることを目標としています。



対応できないことを示している。東海地震対策での最大の課題は、大量の倒壊家屋の

用、つるはし、かきやなど

自動販売機の改修を働きかけています。市町村を通過し、据付業者に対して正しい施工法を指導するとともに、既存の自動販売機の改修を働きかけています。

建築物等の実態調査結果

調査対象	調査件数	改善を要する件数
建築物	14,474棟	7,368棟
外壁やエアコン等の落下対象物	14,474棟	3,533棟
ブロック塀	11,692箇所	5,564箇所

自動販売機の実態調査結果

調査対象	調査台数	本体・据付等不備台数
自動販売機	7,275台	2,173台

※8年度調査の15市町村分

建築物などの耐震性の向上

県と市町村では、地震対策推進条例の規定に基づいて、緊急輸送路等沿いの3階以上の建築物、ブロック塀等の実態調査を実施しました。この結果は次の表のとおりです。

- ◆お申し込み・お問い合わせ
〒420 静岡県掛川市掛川51911
(掛川) 054-251-1710
TEL (054) 251-1710
FAX (054) 251-17500
- ◆お申し込み期限/11月7日(金)
- 鈴木藤郎 氏
伊藤和明 氏
渡辺正博 氏
高野孝典 氏
東京大学社会学部准教授
廣井 脩 氏
評議委員
五代利矢子 氏
米国カリフォルニア州立大学教授
グナセリイ・ドレイ 氏
伊東市長

防災クイズ

防災を考えながら、クイズに挑戦してみよう。オリジナル・テレホンカードが10名様に当たります。

上の絵は、大地震が起きたという想定で、防災活動に生懸命な人々を描いたものです。

■問題/A図とB図を比較すると、絵や文字などに、5箇所ちがいがあります。36のブロックで区切ってありますので、ちがう箇所を番号でお答えください。

■応募方法: 官製ガキに、左記のように記入して応募して下さい。(解答の数字は「□」の中)

■応募締切: 平成9年12月15日(月)当日消印有効

■賞品 クイズ正解者の中から抽選で10名様に、オリジナル・テレホンカード(写真)をプレゼントします。



クイズの答え

住所
氏名
年齢
職業
電話番号
感想等

420□□

静岡市追手町9番6号
静岡県地震対策課内
「自主防災」新聞事務局

3806通のご応募をいただきました。

正解者の中から、正確な抽選の結果、左記の10名様にオリジナルテレホンカードをお送りしました。

根本卓彦様 (岡崎市)
大竹長彦様 (岡崎市)
吉田賢二様 (岡崎市)
香原明彦様 (須崎市)
濱口明彦様 (須崎市)
瀬本真輝様 (藤枝市)
新村 隆彦様 (藤枝市)
赤澤洋平様 (浜松市)
上田文明様 (浜松市)
大田秀孝様 (浜松市)

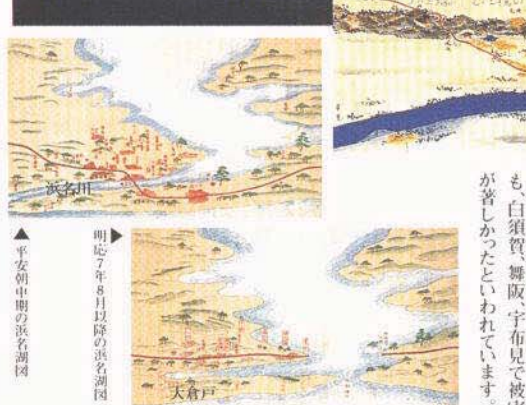
正解は、**ボウタイ**でした。

1498年、明応の大地震で今切出現

遠江海溢れ、荒井崎ヲ壊リ、浜名湖ト通ズ。



浜名湖開湖500年



室町時代末期明応7年(1498年)8月25日大地震がありました。被害記録をもとに割り出した規模はマグニチュード8.4。わが国史上最大級の地震でした。被害は、京都から房総半島に及ぶ広範囲のもので、静岡県では、志太郡(焼津あたり)で家屋流失2万6千軒とされ、浜名湖地方でも、白須賀、舞阪、宇布見で被害が著しかったといわれています。

この明応の大地震で、浜名湖と遠州灘をつなぐ今切口ができたといわれ、「急波あり、湖水変じて湖海となり」と伝えられています。それまでの浜名湖は、淡水で、浜名川を通じて外海へ流れていたのが、浜名川の河口が大倉戸で起きた地すべりによってふさがれ、津波とともに今切の決壊を招いたと思われます。

ただ、説には、今切口は地震によるものではなく、土地が軟弱であったため、地盤が移動し、浜名川がせき止められ、流れ口を失った浜名川が、氾濫して太平洋の堤をぶち抜いたとも言われています。浜名湖開湖500年を機に、浜松市など3市6町でつくる西遠地区広域市町村圏協議会では、開湖500年祭実行委員会を設けて、来年8月のフェスティバルを中心に各種イベントが計画されています。

参考文献及び、資料提供
広報「あらび」No.445及び、
舞阪町立郷土資料館

地震予知観測学習習 モデル校からごんにはは 県立川根高等学校

県立川根高等学校は、榛原郡中川根町徳山にあります。全校生徒281名といった小規模の学校です。地震予知観測活動は2年生の科学部員2名が担当しています。昨年10月5日川根地方を震源に起こった、M4.4の地震以来、川根地方の地震活動が注目されるようになりました。しかし、残念ながら本校における地震予知観測活動に対する関心はまだ低いものとなっています。そこで、地震活動と温泉湧



読者よりのお便りにお答えして
自主防災新聞の購読、家具の固定を持しましたが、読者の方が、借家の場合は、どうしたらいいか?という質問が多かったです。自主防災新聞の36号平成9年3月発行で、「家主さん、不動産業者の皆さん」という記事を取りあげていますので、参考にしてください。

今後はデータを蓄積していくとともに、測定自動化を進めていきたいと思っています。(科学部顧問 牛岡浩昭)

What You Should Do First! TO PROTECT YOUR LIFE IN AN EARTHQUAKE 揺れが収まったら、すばやく火の始末

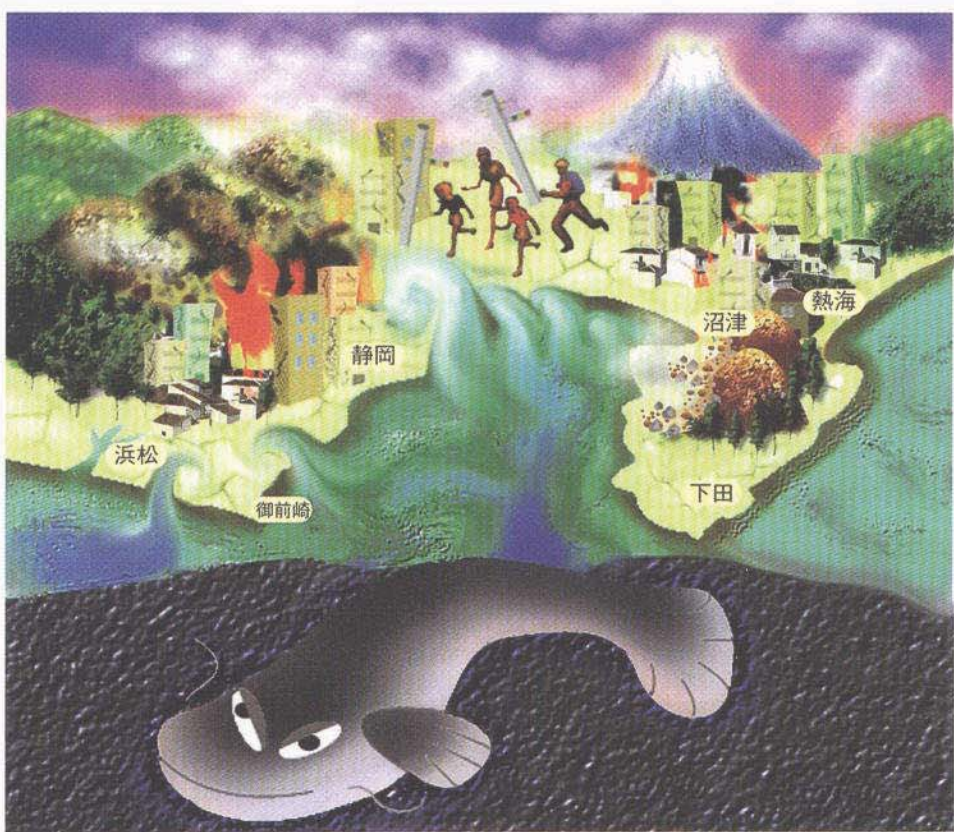
지진에서 생명을 보호하기 위하여 从地震中维护生命的安全 PARA PROTEGER SUA VIDA NUM TERREMOTO Para proteger su vida en un terremoto

Desliger inmediatamente, as fontes de calor. Apegue las fuentes de calor. Turn Off Sources of Heat.

自主防災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙
JISHU・BOUSAI
No. **39**

◆編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ◆発行所/静岡県地震対策課 TEL.054-221-3592 平成10年(1998年)3月



いつ起こるの？！ 東海地震

地震防災対策強化地域判定会会長 溝上恵先生に聞きました。

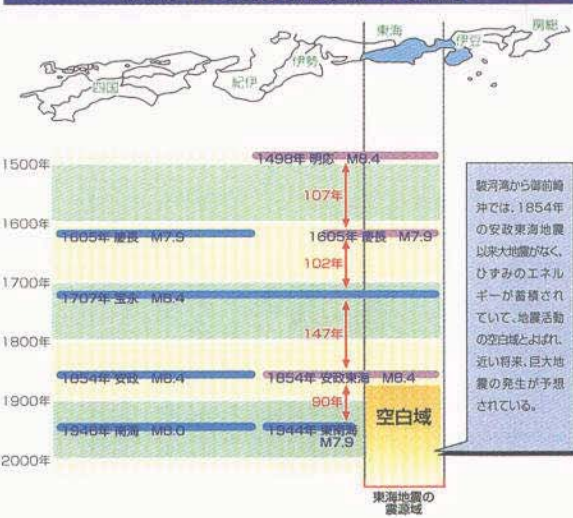
来るぞ、来るぞ！と言われて、早20年余。東海地震の名前は知っていても、しかも規模については、よくわからないという人が多いようです。そこで改めて、東海地震がどんなものなのか、その予知や対策は現在どのようになっているのか、溝上先生から、教えていただきました。

■プレート境界型地震が発生するしくみ



溝上 恵みそう えめくみ氏
地震防災対策強化地域判定会会長。昭和11年新潟生まれ。東京大学理学部地球物理学科卒業。同大学院理学系研究科地震学専攻博士課程修了。理学博士。40年から東京大学地震研究所勤務。60年より東京大学地震研究所教授。99年1月退官。平成9年11月より東海地震予知に関する地震防災対策強化地域判定会会長を務める。

太平洋岸で起こった過去の大地震



20年も前から騒がれているためか、この頃は県民の関心も薄くなってきているようです。そこで今度、東海地震についてわかりやすく説明していただけますか。

静岡県周辺では、古文書の記載によると7世紀ごろから、1000、1500年周期で巨大地震が繰り返して起きています。これは地球科学の観点から見ると、地下に地震が起きているのが組み込まれているからです。つまり、この地域では過去から未来、何万年、何十万年にわたり、大地震が必ず繰り返して起きるものなのです。

東海地域では、フィリピン海プレートが、ユーラシアプレートの下へ沈み込んでおり、その上にある静岡県をのせた地殻を引きずり込もうとしています。そのため1000年ほど経つと、巨大なひずみのエネルギーがプレートの境界に蓄積

(※印は用語の説明あり)

されまます。それが限界に達すると、陸のプレート(ユーラシアプレート)の先端が大きく跳ね返り、マグニチュード8クラスの東海地震が発生するのです。1854年の安政の地震で、ひずみのエネルギーが放出されてから、すでに144年。静岡県の地下では、十分なひずみが蓄えられていますので、いつ起きても不思議はないのです。県民のみなさんには、複雑な地下構造と巨大なひずみのエネルギーを持つ地殻の上に住んでいるということ、しっかり自覚していただきたいですね。

Q.1 東海地震って何？

Q.2 東海地震の大きさはどれくらい？

最近の大地震というと、3年前の阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震を思い出しますが、東海地震の規模はどのくらいのものでしょうか。

想定される東海地震のエネルギーは、兵庫県南部地震の約16倍、震度7の区域が約100km、死傷者数は約9万4千人、建物の崩壊は約45万棟とされています。

兵庫県南部地震は、活断層が動いておきた直下型地震で、約2000年周期といわれています。東海地震は、プレートがはねかえることよって起るプレート境界型地震で約100年～150年周期です。

この地震は、全く性質が異なります。被害の状況も、阪神・淡路大震災の場合は都市部の建物倒壊が主でしたが、東海地震の場合は、震度7の範囲がその3倍～4倍と広く、海と山に囲まれた静岡県地形の特色から、海岸沿いは津波、山沿いは崖崩れ等の広範囲にわたる同時多発の大きな被害が予想されます。(下表を参考にしてください)

■ 阪神・淡路大震災の被害と東海地震の被害想定との比較

項目	阪神・淡路大震災	東海地震被害想定(予告なし)
県人口	546万6千人	368万6千人
マグニチュード	7.2	8
震度7の区域	約30km ²	約100km ²
人的被害(死傷者数)	約5万人	約9万4千人
物的被害(建物倒壊(大・中))	約24万9千棟	約45万棟
津波被害	なし	大津波(死者約500人)
電 気	7日	12日
都市ガス	約3ヶ月	1ヶ月程度
水 道	約3ヶ月	1ヶ月程度
電 話	15日	12日

阪神・淡路大震災は平成9年12月24日自治省消防庁災害対策本部発表の被害状況より。



Q.3 東海地震は予知できるの？

地震が予知できるかが、県民にとっては大きな関心事ですが、予知に関してはいかがでしょうか。

東海地震の発生への歩みは、慢性病の進行にたとえられます。初期は、時間をかけて緩やかに症状が進み、ある程度進行していくと急速に変化が進むのが特徴です。ですから、東海地震が近づけば近づくほど、地震の動きも活発になり、予知の精度も高まるといわれています。



Q.4 東海地震は、いつ頃おきるの？

最近、静岡県内や周辺地域での地震が増えていると聞きますが、東海地震は、刻々と近づいているのでしょうか。

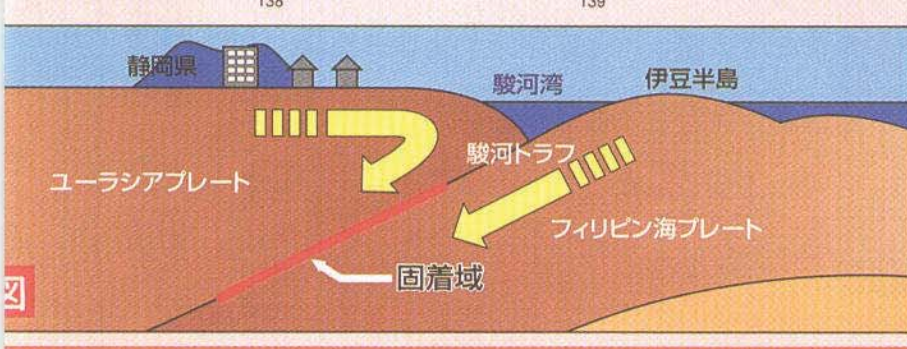
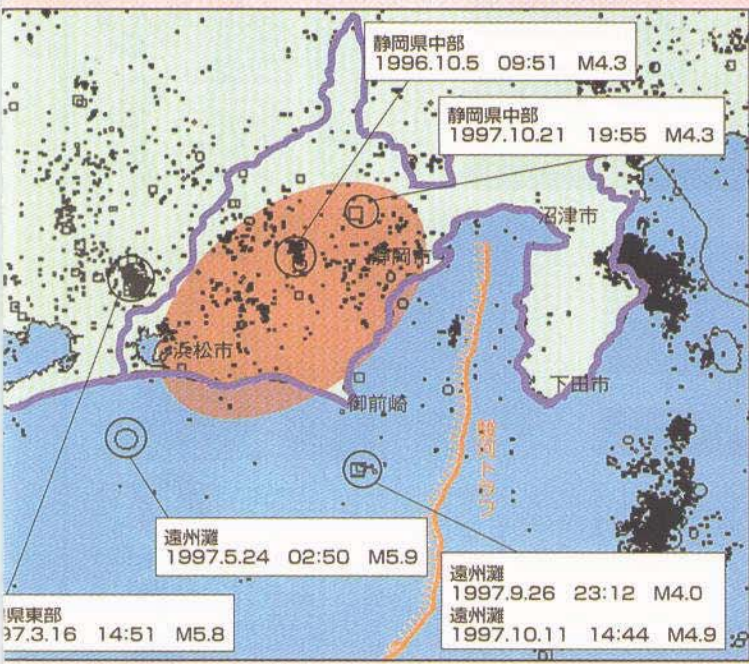
先にも述べましたように、東海地震は、たまたま偶然に突然起るものではなく、地下にエネルギーがたまり、周期的に繰り返して起るものです。特に静岡県を中心とする東海地域では、1944年の東南海地震の時にプレート境界が破壊されずに残っています。このことが、東海地震の発生が身近にせまっているといえる基本的な根拠になっています。

約20年前から、静岡県周辺地域での地震が活発化しています。そして、96年10月に静岡県中部で起きた地震は、プレート境界の固着域にわずかながら変化のきざしが見えはじめたのではないかと考えられています。これからは、固着域周辺のはがれ現象が徐々に進行し、やがてプレート境界の滑り現象につながっていくのではないかと考えられています。そして地震発生の前日頃にはゆっくりとした滑り現象が急速に加速し、時分刻みのように東海地震の発生が現実のものとなっていきます。この時点で、警戒宣言が発令されることになるでしょう。これが、何カ月先、何年先かは今の時点では断言できませんが、



1996年10月1日から1997年12月18日まで(約1年2カ月)の間に、静岡県とその周辺地域で観測された地震のデータ。延べ1002回の地震(地図上の黒い点)が起きています。点が密集している部分は、地震の多発地域です。

現在の地震活動状況



自衛隊進退委員会 小笠原 委員長

溝上先生が考える 東海地震のシナリオ

溝上先生が、今までのデータや事象をもとに、東海地震発生までの進行プロセスを描いたものです。今、私たちの足元で何が起きているのか、そしてこれからどんな変化が起きていくのか。これは、県民の誰もが知っておきたいことです。

1974 ■ 第1期 1974年～1989年

約20年前から、東海地方を遠くとりまく、フィリピン海プレート内での地震活動が活発化。
(右図の青の斜線部)



1989 ■ 第2期 中期的前兆 90年～96年10月

銭洲海嶺でプレート内地震が発生。銭洲海嶺の地震活動が活発化。
(右図の青の斜線部)



1996 ■ 第3期 中期的前兆 96年10月5日～現在

'96年10月5日に、川根で直下型地震が発生。以来、プレートの固着域周辺でM4～5クラスの地震が発生している。
(●印で示したもの)
御前崎の沈降がぶる
(トピックス欄参照)



1998 現在

1998年以降 これからどうなるか

以下の4期・5期は今後、東海地震を監視する上で注目すべきポイントです。
(必ずしも、この通りになるとは限らない。)

第4期 中期的前兆

2～3年後に、新島～石廊崎～静岡を結ぶ断層帯か、その南の海側プレート境界で、M6～7の地震発生の可能性が高い(右図の赤の斜線部)。この地震活動は、固着域のはがれを加速させる。



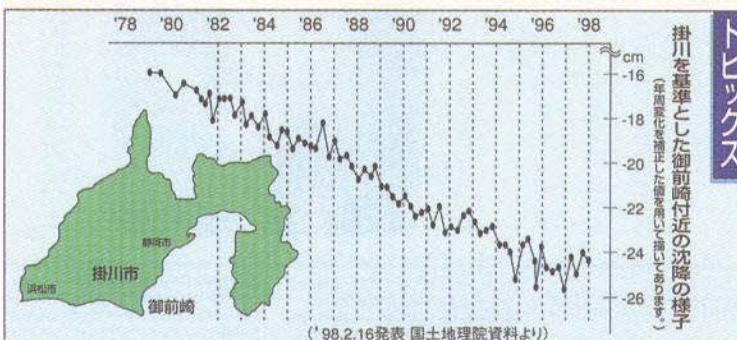
第5期 短期的前兆

一部固着域の内部に、プレート境界線のすべりのメカニズムを持つ地震が発生する。静岡県中部などの地震活動が高まり(右図の黄色の地域)、プレート境界面に沿った地震も発生する。



第6期 直前

東海地震発生の一週間くらい前から、体積ひずみ計に変化が現れる。約2～1日前に変化が加速。この時点で警戒宣言の発令となり、間もなく、東海地震が起る。



東海地震が予想される地域に住んでいる以上、まず地震を正しく理解し、自分たちで対策を講ずることが大切です。気象庁では、より「層」情報を公開していきますので、日頃から気象庁から出される情報に関

心をもつて下さい。地震の観測網や観測システムは日々進歩し、気象庁では24時間体制で地震の変動を観測しています。そういう専門スタッフたちの努力を理解していただき、県民のみならず、一人一人が、地震

に対する意識、関心を深めて、家具の固定、食料、飲料水の備蓄、(訓練への参加、救出、救助の訓練の表施などの充実など、今できることをしっかりとやっておくことが最も重要です。

津波からの避難はもちろん、いままでの準備にもとづいて、すばやく行動できるようにしておきましょう。



Q.5 防災対策として、今、私たちにできることは？

測できる可能性も高くなります。すでに東海地震から20年が経過し、その間に蓄積された膨大なデータからも、静岡県の下に

でも観測により得られた緻密なデータを基にして判断される科学的な防災手段のひとつと考えて下さい。



※用語の解説

プレート
地球の表面をおおっている板状の「マントウ」です。厚さ100km程度の塊を「プレート」と呼ぶ。プレートの上部と構成されている地殻は、プレートの下部と構成されている地殻より、年間数cmのスピードで移動し、地震発生と深く関連しています。

マントウ
「マントウ」は、地震そのもののエネルギーの大きさや「震度」は、それぞれの場所での揺れの大きさを示します。電球に例えれば、電球そのもののワット数が「マントウ」で、距離によって揺れが異なります。

断層
過去から、活動が続いているとみなされる断層。活動は不規則で、数百年、数千年に一度の急激な動きとして出現します。兵庫県南部地震の原因はこれです。直下型の大地震を引き起こしました。

体積ひずみ計
地下数百mのところに、岩盤の中の体積変化を自動的に検出するセンサーを埋め込んだ機器。東海地域および南関東の31ヶ所に設置され、リアルタイムで地震活動を観測しています。このデータは、地震予知の有力な判断材料になります。

固着域
日本列島の太平洋側では、太平洋プレートやフィリピン海プレートが、1年に数センチの速度で日本列島に向かって移動し、日本列島を乗せた「マントウ」の下に押し込まれます。このプレートの境界に、

プレート同士が互いに補付けしたところ、すなわち「マントウ」は、広島型を原形とした「マントウ」に埋め込まれたマントウ19個ほどになります。

活断層
過去から、活動が続いているとみなされる断層。活動は不規則で、数百年、数千年に一度の急激な動きとして出現します。兵庫県南部地震の原因はこれです。直下型の大地震を引き起こしました。

プレート
地球の表面をおおっている板状の「マントウ」です。厚さ100km程度の塊を「プレート」と呼ぶ。プレートの上部と構成されている地殻は、プレートの下部と構成されている地殻より、年間数cmのスピードで移動し、地震発生と深く関連しています。

マントウ
「マントウ」は、地震そのもののエネルギーの大きさや「震度」は、それぞれの場所での揺れの大きさを示します。電球に例えれば、電球そのもののワット数が「マントウ」で、距離によって揺れが異なります。

断層
過去から、活動が続いているとみなされる断層。活動は不規則で、数百年、数千年に一度の急激な動きとして出現します。兵庫県南部地震の原因はこれです。直下型の大地震を引き起こしました。

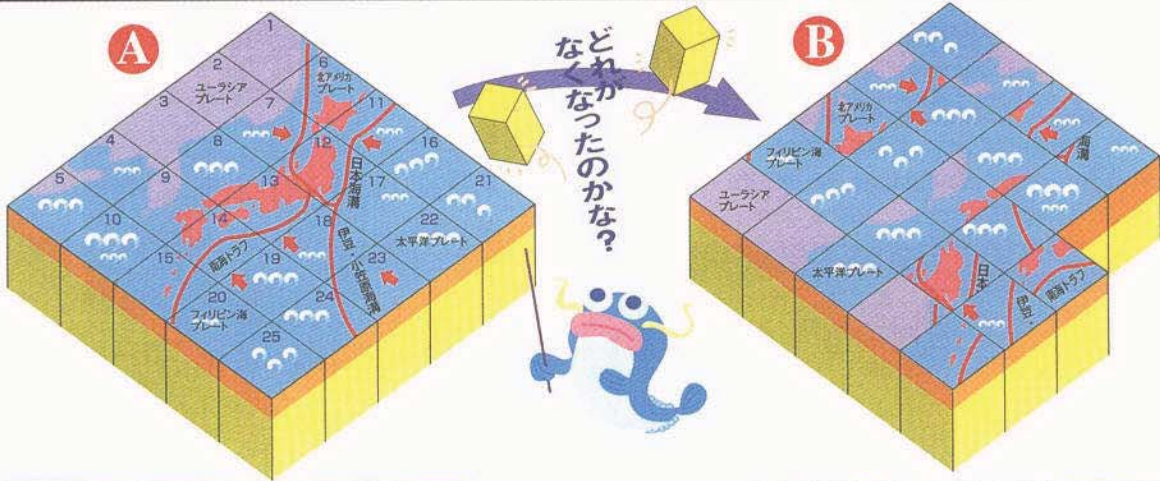
体積ひずみ計
地下数百mのところに、岩盤の中の体積変化を自動的に検出するセンサーを埋め込んだ機器。東海地域および南関東の31ヶ所に設置され、リアルタイムで地震活動を観測しています。このデータは、地震予知の有力な判断材料になります。

固着域
日本列島の太平洋側では、太平洋プレートやフィリピン海プレートが、1年に数センチの速度で日本列島に向かって移動し、日本列島を乗せた「マントウ」の下に押し込まれます。このプレートの境界に、



断面図

防災クイズ



防災を考えながら、クイズに挑戦してみよう。防災にも役立つ緊急セットが10名様に当たります。

Aは日本付近のプレート境界を描いたものです。

■問題/日本付近のプレート境界の図を、25個に分割した正方形の6面体パズルを作りました。25個のうち2個を紛失してしまいました。いったいどのキューブ(6面体)をなくしたのでしょうか? (①の面をよく見比べて紛失した2個を番号で答えて下さい。但し面はシグナタならべではありません。)

■応募方法: 官製ハガキに、左記のように記入して応募して下さい。解答の数字は□の中へ

■応募締切: 平成10年4月10日(金)当日消印有効

■賞品 クイズ正解者の中から抽選で10名様に防災緊急セットをプレゼントします。

クイズの答え

住所 _____

氏名 _____

年齢 _____

職業 _____

電話番号 _____

感想等 _____

420-8001

静岡県追手町9番6号
静岡県地震対策課内
「自主防災」新聞事務局

前号のクイズの解答

4518通のご応募をいただきました。正解者の中から厳正な抽選の結果、左記の10名様にオリジナルTシャツをプレゼントしました。

正解は **4 16 18 23** でした。

西川賢 滝本隆 岡田 豊 藤田 隆 三橋久平 藤田 隆 三橋久平 藤田 隆

自主防災活動リポート 焼津市

12月7日の日曜日、焼津市内の23の自主防災組織が、地域の特性に応じた実践的な「突発対応型訓練」を実施しました。全市参加人員は20,250余名でした。

重点訓練内容の特色としては、次のとおりです。

① 家庭内対策を取り上げ、初期消火訓練、備品確認、非常持出品点検、そして、家族の役割分担確認など、訓練の内容が具体性を帯びてきています。

② 津波、崖崩れの危険予想地域の避難行動の徹底です。南北に長い海岸線、北側に風化しやすい岩石の高岸山を持つ地形の焼津市では、素早い避難行動が要求されるのです。

③ 地域における救出救護訓練



こうした防災訓練を通して、今後より実践的な訓練になるよう期待しています。

(池田推進委員)



防災への誓い新たに 浜松で自主防災活動推進大会

平成9年度の自主防災活動推進大会が、昨年11月30日(日)、浜松市地域情報センターで開かれ、県内の自主防災組織の関係者など約150人が出席し、防災への誓いを新たにしました。

大会では、自主防災活動の推進に尽くした人たちの表彰や自主防災組織活動推進委員会の活動報告が行われ、併せて平成9年度の地震防災標語とホスターの表彰がありました。また、記念公演として、清水演劇研究会に上る朗読劇「50年目の戦場(神戸)」が上演されました。

自主防災活動で表彰された方々は次の通りです。

■個人賞賞
高橋武志
浜松市自主防災会連合会副会長
藤田 明
(裾野市地域地震防災指導員)
平川博幸
(裾野市地域地震防災指導員)
芹澤秀彦
(沼津市防災指導員)
小倉清隆
(浜松市八幡町自主防災隊)

敬称略



『自然の恵みとの共存をテーマに 防災シンポジウムを開催』

静岡県伊東市(財)静岡県防災情報研究所主催の防災シンポジウムが11月11日、伊東市で開かれ、また、地震防災対策強化地域判定委員会会長である清上忠氏が「伊豆半島東方沖群発地震とシグマ活動」をテーマにした基調講演後、伊藤利明NHK解説委員をリーダーとする「自然の恵みとの共存をテーマに」のシンポジウムが、伊東市で開かれ、観客にも安心していただける防災対策の確立が必要である、などの意見や提言がありました。



編集後記

最近、静岡県付近の地震活動に変化が現れてきていると、われわれいよいよ東海地震か、という感もします。そこで今号は、県自主防災組織活動推進委員会委員長清上先生に「東海地震についてお話を伺う企画を立てました。地震活動の現状を理解され、是非地震対策にいかしてください。」

編集長

お詫びと訂正
38号の4面に掲載した「浜名湖開湖500年」の写真が反転ウラ焼きになっていました。同じく4面のモデル校からご指摘いただいた科学部顧問牛岡浩昭氏は片岡浩昭氏の誤りでした。謹んでお詫び訂正いたします。

What You Should Do First

TO PROTECT YOUR LIFE IN AN EARTHQUAKE

地震から命を守るために

가족 3일분의 비상식과 음료수
全家人 3天的应急食物和饮用水
Pang-tatlong araw na supply ng pagkain para sa buong pamilya
Three-day supply of food for the family

Suprimento de alimentos e de agua potavel para a familia para tres dias
Comida y agua potable para tres dia para la familia
Three-day supply of food for the family
Para proteger su vida en un terremoto

PARA PROTEGER SUA VIDA NUM TERREMOTO

自主防災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JISHU - BOUSAI

No. **40**

◆企画・編集／静岡県自主防災組織活動推進委員会

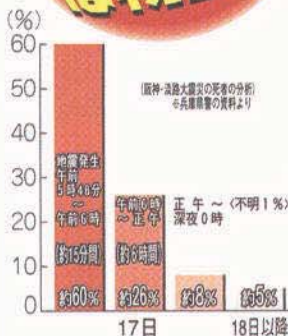
◆発行／静岡県防災局 TEL.054-221-3592

平成10年(1998年)8月



あなたの無関心が
あなたの命を奪う！

阪神・淡路 大震災 は物語る



無防備の 恐ろしさ



原因はほとんど圧死(図2)

日頃、地震対策に無関心な人は

阪神・淡路大震災についての大きな教訓は、被災者の証言の一つひとつに含まれています。実際に大地震が起こったとき、人間はどんな行動がとれるのでしょうか。

自分のためだけではありません。大切な人の命を守るために後悔のない地震対策を今すぐ実行しましょう。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部を襲った大地震で住民が受けた心の傷は生涯、消えません。多くの被災者の悲しみを代償にして、私たちは自然の脅威を知りました。その教訓を一つ残らず生かさなくてはなりません。

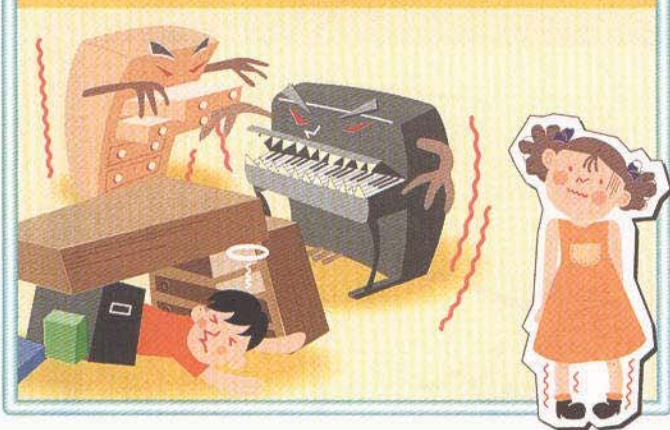
「どうせ何もできないだろう」「運を天に任せるしかない」と思っているのではないのでしょうか。証言の中に多かったのは、「関西では地震がない」「地震が起こるのは関東」などという油断です。これでは、ふだんから準備不足になるのは当たり前です。

家の強度や地域の地形、地盤などの状況を知っているかどうかで、素早い対応ができるかどうかが決まります。

2 証言：瞬間、タンスやピアノが凶器に

「アパート1階の男性は、地震に驚いてベッドで上半身を起こしたところ、タンスが倒れ、腰がくの字に折れたように押しつぶされて、亡くなった」

教訓…家具の置き場所を考えたり、固定をしておけばよかった。



3 証言：ふとんが命を救ってくれた

「とっさに布団をかぶった。あとで見ると天井の照明器具が破損し、ガラス片がブスブスと布団に刺さっていた」

教訓…身近にあるフトンやザブトンなどをうまく使って身を守る。



震動は日頃の準備で変わる

阪神・淡路大震災を体験した人たちが、生々しく語るこうした証言からの教訓。

って、よく見える所に貼っておきましょう。

出典：静岡県防災情報研究所年報(1997年度版)

4 証言：まず自分と家族の命

その1「部屋の中は足の踏み場もない状態。すぐに子供たちの安否を確認し、フトンにくるまっていなさいと言いつけた」
その2「裸足だったので、破片などの上に座布団を載せて歩いた」

教訓…すぐに家族の安全確認。とくに子供は安全なところから動きまわらないよう注意。



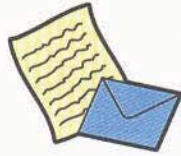
5 証言：隣人の安否を気づかう

その1「外に出ると強烈なガスのにおい。近所の家のガスの元栓をしめて回った」
その2「大学生が差し込んでくれたゴムホースで息をして、土砂の下から救出された」

教訓…日頃から、隣近所と交流しておくことが大切



おたより コーナー



丹羽一予さん
(22歳・袋井市)

私は阪神大震災を兵庫県芦屋市宮川町で受けました。芦屋市といっても下町の、阪神高速道路が真横を走る町内に下宿をしていたときでした。

部屋にあったピアノも、とんでもないところへ移動し、地震の恐ろしさを教えられました。

そういえば、1週間ほど前から私の部屋にネズミが出て大変でした。それも1匹や2匹ではなく、何十匹という数です。自然はよく観察していれば、事前にいつとも違うことが起きることを教えてくれるものかもしれません。

あれ以来、私にはひどい後遺症が残りました。いま、これを書いて

いるときも、あのことを思い出して、手が震えてきます。静岡県東海地震の被害想定では死傷者数が9万4千人と出ていました(自主防災新聞第39号)。はつきり言ってショックです。あの地震を受けてきたというのに、また……。

父はJRの運転士なので仕事中心で、母がサーフィンに行ったり、みんな寝ていたりするときに地震が起きたら……。そう考えてしまうのも、私が地震でほんとうに怖い思いをしたからです。

アパートは、前がすぐ山の切り出しになって、地震が起きたら埋まってしまうそうです。実家も、私

どうしてほんとうに大切なことを忘れちゃっているの？



がせつたいに危ないと言っのに、まだ20年も経つブロック塀を直しません。

みんなみんな、新しい車や服を買うことには一生懸命なのに、ほんとうに大切なことを、なんで忘れちゃっているんだろう。どうしたら、あの地震のことが伝わるんだろう。私はほんとうに悲しいです。

津波避難訓練レポート



毎年7月1日〜10日は津波対策推進旬間

安政の大地震で、河川の逆流により多くの死者を出した教訓が残る吉田町住吉地区では、吉田漁港を囲む防潮堤の門扉の閉鎖とビルへの避難が最優先行動。日頃から町内の結びつきが強い地域だけに、多くの住民が参加して訓練が行われました。

また富士市でも、自主防を中心として約1800人が訓練に参加。地

海岸の多い静岡県は、たえず津波の危険にさらされています。今年も津波対策推進旬間の7月1日〜10日に、県内各地で津波避難訓練が行われました。

「地震だ 津波だ すぐ避難」

震災発生と同時に、係留中の漁船が沖へ避難し、そのあと市と県なども協力して、大規模な訓練が行われました。

そのほか釣り客や海水浴客などが多い海岸や浜辺など、地域の条件に合った避難誘導を常日頃から身につけて、すばやい行動をとりたいものです。



証言：あっという間に家が倒壊

その1「木造2階建ての1階がべしゃんこ。家族3人は2階に寝ていて、地震で外れたガラス戸から命からがら脱出した」
その2「自宅の屋根が落ち、やっとの思いで這い出した」



教訓…なんで耐震診断と家の補強をしておかなかったのだろう。



地震

☆切り取



証言：とにかく懐中電灯とラジオ

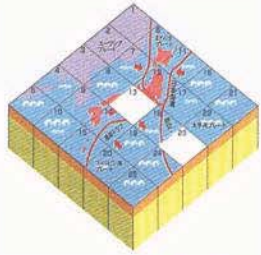
その1「揺れると自動的に点灯するライトを壁に掛けておいたが、電池切れで点灯しなかった」
その2「ラジオもない。空が真っ赤に燃えている。情報がほしい」



教訓…懐中電灯とラジオは必ず常備。(電池の交換を忘れずに)



Answer 前号のクイズ



正解は **13 23**
でした。

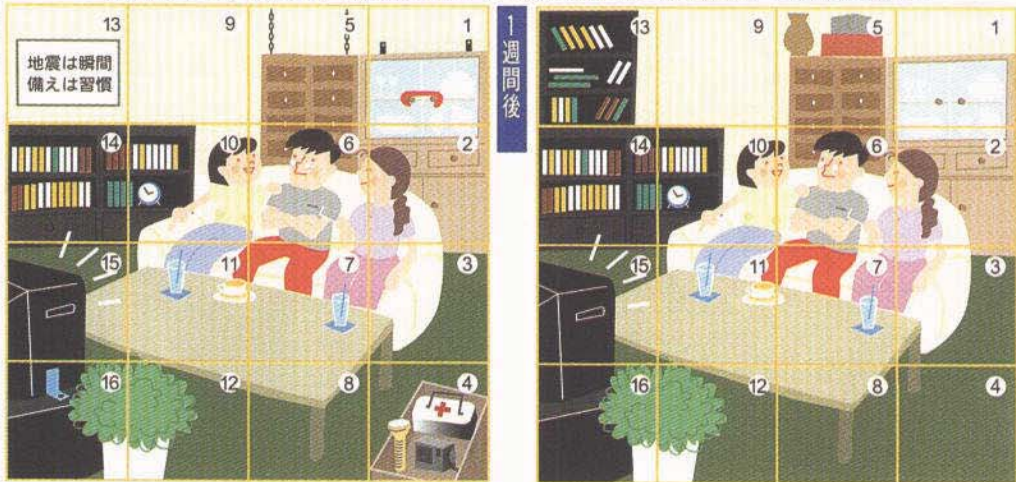
4051通のご応募をいただきました。
正解者の中から厳正な抽選の結果、次の10名様に防災にも役立つ「救急セット」をお送りしました。

- ・鈴木深雪様 (西伊豆町)
- ・岩田知美様 (御殿場市)
- ・瀧富美枝様 (裾野市)
- ・小川光枝様 (富士宮市)
- ・渋谷弘子様 (焼津市)
- ・坂本智香子様 (藤枝市)
- ・池田俊雄様 (大井川町)
- ・本田文恵様 (磐田市)
- ・山本裕樹様 (豊田町)
- ・加茂麻利子様 (雄踏町)

防災クイズ

防災を考えながらクイズに挑戦しよう

ある日、ボウサイ家では、地震防災の話でもりがありました。その結果が、1週間後の図です。



ある日のボウサイ家



賞品

正解者の中から抽選で30名様に、地震のときに欠かせないラジオ付き懐中電灯をプレゼント。

クイズの答え

4220-0000

静岡県道手町9番6号
静岡県防災局防災計画室
（自主防災）新聞事務局

住所
氏名
年齢
職業
電話番号
感想等

●問題/ある日と1週間後で違うところが5カ所あります。ちがう絵がある部分のワケの番号を答えてください。

●応募方法/官製ハガキに左記の通りご記入のうえお送りください。

●締め切り/平成10年9月10日(木)まで。当日消印有効。

わが家の 防災アイデア募集!

皆さんの自宅のちょっとしたアイデアを教えてください。
住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。
「自主防災」新聞紙上で紹介された方には薄謝を差し上げます。

〒420-8601 静岡市追手町9番6号
静岡県防災局防災計画室
「自主防災」新聞事務局



申込み・問合せ先
静岡県地震防災センター
〒420-0042
静岡市胸形通5丁目9番1号
TEL 054-251-7100
開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日、年末年始
入館料 無料
http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp

地震防災センターでは夏休みに子供から大人まで地震防災について楽しみながら勉強できる、さまざまなイベントを開催します。ぜひこの機会に、防災について考えてみませんか? みなさんの参加をお待ちしています(参加費無料)。

また、団体で地震防災センターを見学してみませんか? 予約いただければ、インストラクターが説明します。平均学習時間は60~90分です。

8月1日・8日・23日(各土曜日)
10:30~14:00

親子 防災教室

センターの見学(体験コーナー)等、非常食づくりとその試食会、ビデオ上映など災害時に役立つ活動にチャレンジ。

対象/県内在住または在学の小学生および保護者
定員/各日30名
応募方法/センターに電話で予約

夏休みは 地震防災センターへ 行こう!



夏休みの自由研究のために、小中学生のみなさんに地震や防災についての資料を提供し、質問にもお答えします。

夏休みの自由研究のために、小中学生のみなさんに地震や防災についての資料を提供し、質問にもお答えします。

夏休み期間中9:00~16:00

特別講演会
「東海地震の発生と地震対策」

講演財 防災情報研究所
所長 井野盛夫氏
専門家がわかりやすく解説する東海地震とその防災対策。

8月9日(日)11:00~12:00

「地震発生! あなたの家は大丈夫?」
木造住宅の耐震診断の方法を説明します。

8月16日(日) 13:00~14:00

「ごとも映画会と非常食試食会」
定員は50名事前にセンターへ電話予約を。
8月30日(日) 13:00~14:00



地震防災ポスター募集

県内在住または在学の小中学生を対象に地震防災に関するポスターを募集します。

四ツ切り以上の白画用紙に必ずタイトルを入れ、作品の裏に学校名・学年・住所氏名電話番号を明記し、各県行政センターへ郵送または持参。締め切りは9月8日(火)。

1997年小学校高学年の部
最優秀賞 山本真耶さん

【自主防災活動推進委員の紹介】

平成10年度の静岡県自主防災組織活動推進委員会の委員10名が決定しました。

この委員会は静岡県防災計画室長の委嘱機関で、地域の自主防災活動へのアドバイザーや講演会への講師の派遣、防災対策についての討議や調査を行いながら、自主防災活動の活性化のための活動を行います。

また、この「自主防災新聞」づくりが、委員会のもう一つの重要な仕事です。これからも、各自自主防災組織への参考になるような情報を提供し、

委員 角ヶ谷 昇(袋井市)
委員 信澤 正男(裾野市)
委員 堤 實(西伊豆町)
委員 池田 耕三(焼津市)
委員 土屋 良一(熱海市)
委員 鈴木恒就(静岡市)
委員 井ノ口泰三(浜松市)
委員 村山 晃(富士市)
委員 若林良治(富士川町)
委員 松野 久(天竜市)

What You Should Do First

TO PROTECT YOUR LIFE IN AN EARTHQUAKE
地震から命を守るために

家族3日分の非常食と飲料水

지진에서 생명을 보호하기 위하여 从地震中维护性命的安全 PARA PROTEGER SUA VIDA NUM TERREMOTO

Suprimento de alimentos e de agua potavel para a familia para tres dias
Comida y agua potable para tres dia para la familia
Three-day supply of food for the family
Para proteger su vida en un terremoto

自主防災

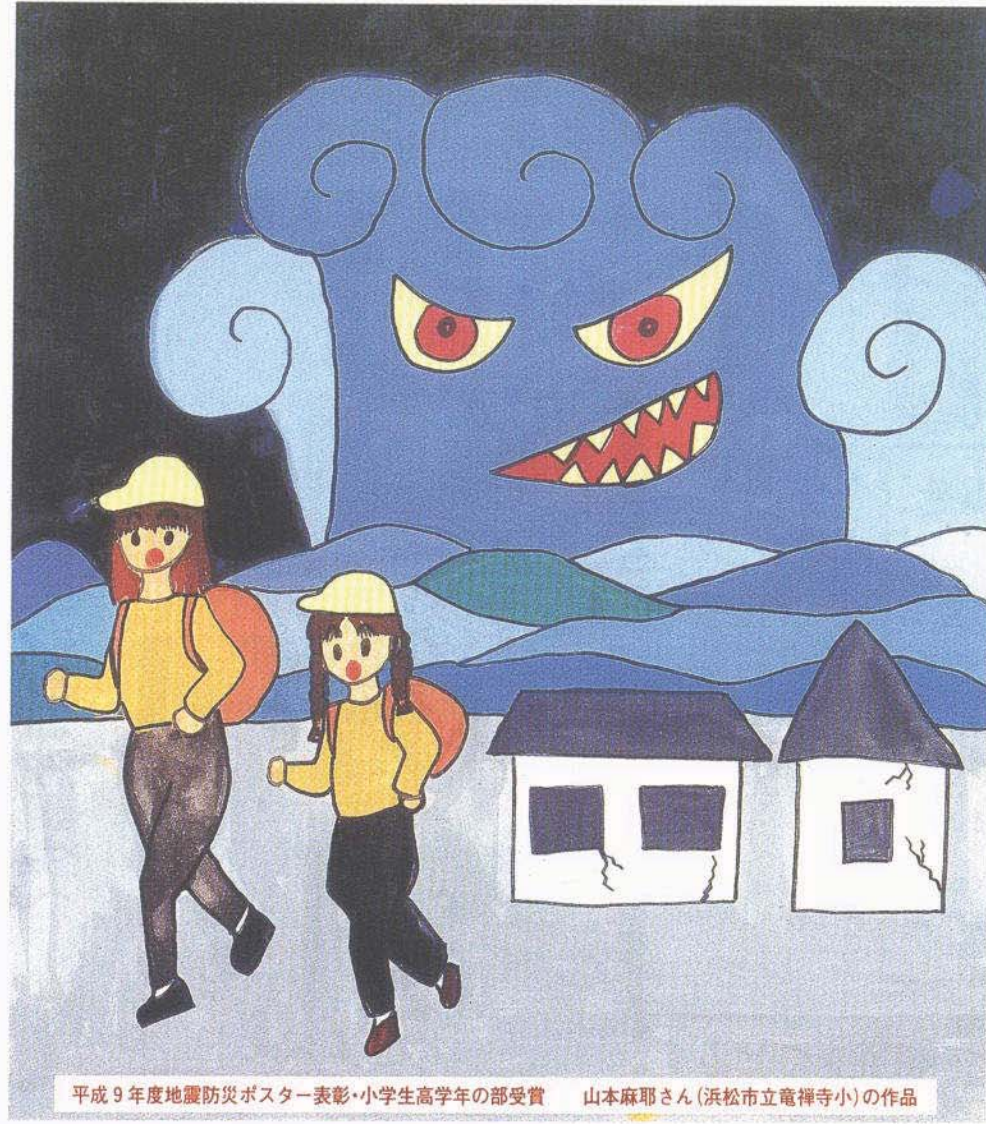
地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JESHU・BOCSAI

No. **41**

◆企画・編集／静岡県自主防災組織活動推進委員会 ◆発行／静岡県防災局 TEL.054-221-3592

平成10年(1998年)11月



平成9年度地震防災ポスター表彰・小学生高学年の部受賞 山本麻耶さん(浜松市立電禅寺小)の作品

特集 津波被害と山崖崩れを考える

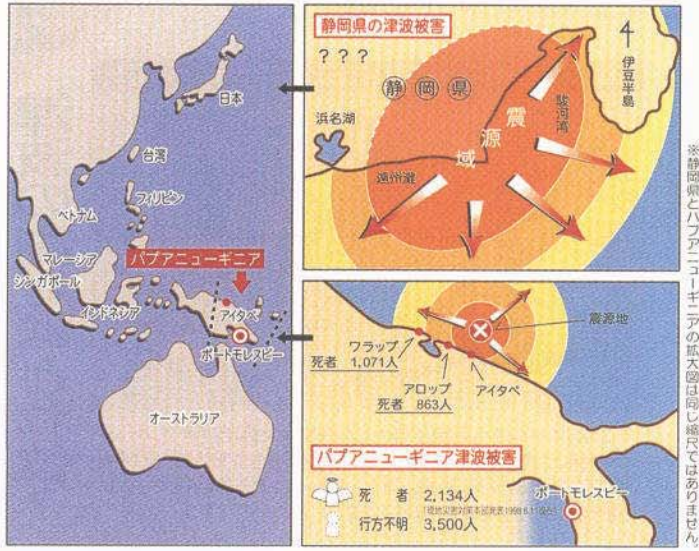
地震だ津波だすぐ避難

今年の7月17日にバブアニューギニアを襲った大津波は、私たち静岡県民にとっても、大きな衝撃でした。それは、津波の計り知れない恐ろしさを改めて見つけた大災害だったからです。

いちはん被害の大きかったシッサノ潟湖の辺りでは、ちょうど島の沿岸30キロあたりの海底を震源地とするマグニチュード7の地震によって、地震発生とほぼ同時に津波の第一波が、数分から10分後には第三波までやってきて、海岸線の村々を全滅させました。

現地調査を行った京都大学防災研究所の河田恵昭教授のレポートを読むと、生存者の証言に、絶壁のような黒い水の壁がコナツツの林の上に見えるなど、原因となった地震のエネルギーから予想される規模よりも、実際の津波の規模の方がはるかに大きかったという点です。それが、地震に伴って起きた海底地滑りのためなのか、地形の影響なのか、原因はまだ調査研究中のようですが、震源地が近いことや、海岸線の特徴などを考えと、東海地震が起こった場合の静岡県に類似したケースと言えます。

東海地震の津波は、駿河湾から遠州灘の海域で発生するため、地震発生とほぼ同時に津波が襲来します。だからこそ日頃から、避難行動のイメージトレーニングをしておくことが大切です。海岸付近で大きな揺れを感じたら、すぐに近くの高台や避難ビルにのぼる、船なら沖に逃げる……等々心の準備が、瞬時に生死を分ける決め手になるでしょう。同様に、山崖崩れの危険地域の住民も周囲の自然環境を知り、日頃から安全な避難路と避難地を決めておきましょう。

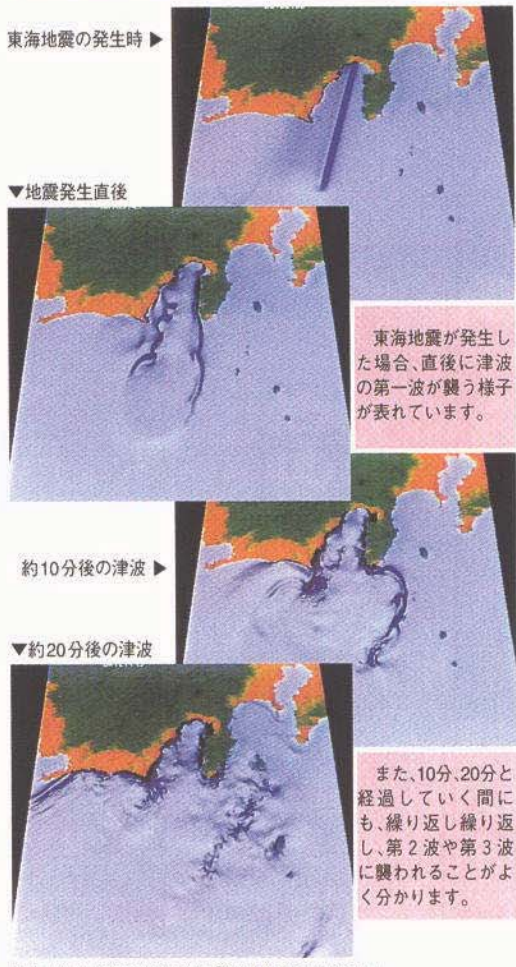


simulation 静岡県第2次地震被害想定より 東海地震 シミュレーション

津波

予想される東海地震をモデルに、静岡県が津波に襲われたときの状況を仮体験してみましょう。どのくらいの時間で到達するのか？ どのくらいの規模でやってくるのか？ 各地域の具体的な被害想定は？ 実際にはここに示した数値よりも大きな被害が出るかも知れません。北海道南西沖地震の奥尻島やバブアニューギニアの教訓を思い出しながら、ぜひ自分の地域の想定もしてみてください。

1 想定！地震発生から津波誕生へ



資料：(株)大林組技術研究所作成の「想定東海地震津波」CGより

2 津波の高さはどれ位？



この図は、1854年12月23日に発生した安政の大地震の資料やコンピューターを用いた津波のシミュレーションから予想したものです。あくまで平均値で表してありますが、局地的にはもっと高い波が襲う可能性もあります。(図の左に示した数値は津波の高さを表したスケールです)

3 静岡県の津波被害を予想すると……



赤	浸水深 2m以上
赤	浸水深 1m～2m
黄	浸水深 0.5m～1m
黄	浸水深 0m～0.5m
緑	水門等開放時の浸水域
青	安政東海地震想定浸水域
●	耐震水門
○	水門・門扉等

図面上の数値は推定される津波の高さ

日頃から避難ビルを確保しておく

駿河湾の中央部にあたる三保半島は、安政大地震のとき外洋(三保松原側)から湾内(現在の清水港内)へ6メートルほどの津波が襲い、三保半島一面が洗われたと記録されています。また戦後の開発によって、かつての海岸線より埋め立て地がかなりせり出しているため、高台まで逃げるのは困難な地域もあり避難ビルの確保は欠かせません。地震の揺れがおさまったら、ただちに高台や鉄筋コンクリートビルの3階以上へ避難しましょう。

河口や港口はとくに気をつける



河川や港などの入り組んだ地形をもつ地域では、海水の遡上や集中的に高くなる津波に十分注意しなければなりません。浜名湖の今切口は舞阪町の旧家の記録から、5～6メートルの津波だったことが推測されます。日頃から船の係留や水門の開閉に留意し、突発地震を考えて防潮堤通路などは不便でも閉めておくようにしたいものです。



山崖崩れ

山崖崩れは水害だけでなく、地震によっても発生します。左の写真は伊豆半島沖地震のときのものです。

近隣の地質や地形をよく知って、何か異常がないか、常日頃から観察の目を光らせておくことが重要です。そしてどんなに小さな異常でも、市町村の担当や地域の自主防災組織に報告しましょう。

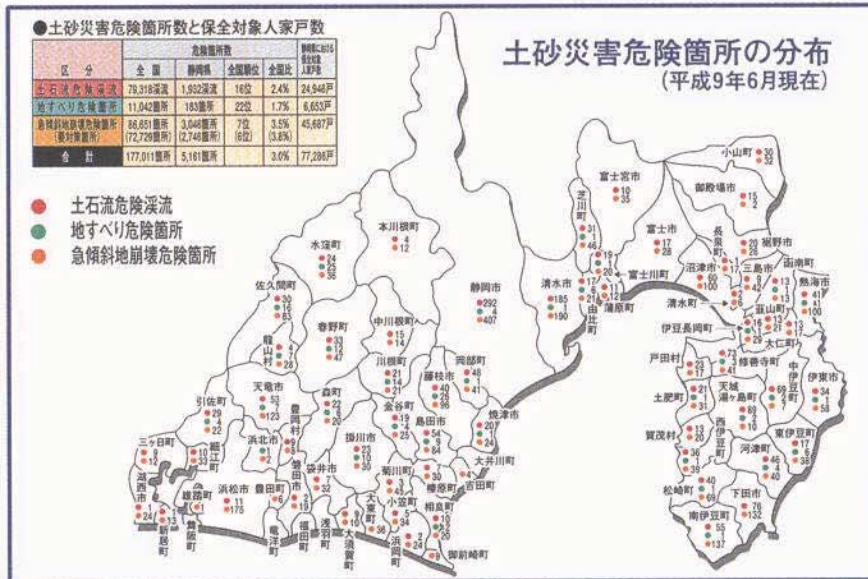
安全な避難地と避難路を周辺住民みんなが了解し、すぐに行動がとれるようにしておくことが大切です。

←昭和49年(1974)伊豆半島沖地震で山崩れを起こした南伊豆町中木地区

とにかく急いで近くの 高台に逃げる

駿河湾の最奥部にあたり、海岸線が入り組んでいる内浦湾では、波高も高く、安政の大地震の記録によれば6~7メートルにも及んだようです。長浜(地区中○印を付した地区)の菊池家に残る資料では床上7尺、つまり1.8メートルの梁上まで浸水したとあります。

この地区は、地震の揺れがおさまったら、ただちに安全な高台に逃げるのが肝心です。



清水市・清水港周辺



観測モデル校紹介

県内に3校ある地震予知観測モデル校のひとつ、栗原高校は、地震観測地点で注目される御前崎の北約15キロのところにあります。観測は現在、部員数5名の物理部が担当し、少人数ながら微小地震の観測、地電位の測定、気象観測、電磁波による観測等を継続して行っています。

微小地震は身体に感じないようなごく小さな地震のことですが、最近では地震以外の雑音動車や工場などによるものを多く記録するようになり、これを消す工夫が必要になってきました。地電位の測定は地中を流れている電気を測ることで、年間を通じてその大きさが変化している様子がよく分かります。

また本校生徒930名を対象に行なった意識調査では、地震の知識は十分にもっている防災意識もあるのに、対策は不十分であることが分かりました。私たちの活動が観測だけでなく、地震の知識や災害への備えを忘れないような様高

生全員の行動につなげていけたらと思っています。

(栗原高校物理部顧問 山梨輝夫)

Information

津波や山崖崩れについての資料を見たい方は...

県行政センター
や市町村防災担当課までお問い合わせください。

Answer

前号のクイズ



正解は **1 4 5**
13 16 でした。

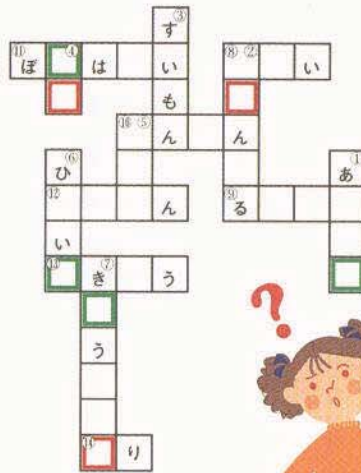
7794通のご応募をいただきました。

正解者の中から厳正な抽選の結果、次の30名様に防災にも役立つ「ラジオ付懐中電灯」をお送りしました。(敬称略)

- | | |
|--------------|-------------|
| 木村 武(浜松市) | 小堀光子(水窪町) |
| 杉山悦朗(金谷町) | 松井絵理(袋井市) |
| 清水秀行(富士市) | 大杉まや(磐田市) |
| 鎌田明子(清水市) | 柏木静子(沼津市) |
| かねたかてるみ(静岡市) | 渡辺亮治(下田市) |
| 寺岡ひろ子(大井川町) | 豊田秀子(浜松市) |
| 安野鈴江(焼津市) | 羽田雅英(中川根町) |
| 新間重美(金谷町) | 田崎あや(三島市) |
| 小池勝子(清水市) | 峯田香代(清水町) |
| 林ゆかり(藤枝市) | 石井とみ江(南伊豆町) |
| 島野真弓(浜松市) | 鈴木英美(函南町) |
| 椎野みち子(浜岡町) | 梅原孝寛(大仁町) |
| 鈴木せつ子(磐田市) | 福葉のぶ子(松崎町) |
| 有海勝男(大東町) | 佐野美知子(富士宮市) |
| 笹竹みつ子(天竜市) | 野村利一(芝川町) |

防災クイズ

防災を考えながらクイズに挑戦しよう



答え:



クロスワードパズルのテーマ①の番①④⑧⑩⑬番のワクに、問題文を読んでひらがなの文字をあてはめてください。パズルが完成したら、□で囲んであるワクの3文字と□で囲んである4文字を組み合わせて、地震に関することばを作り、「回答」ください。
この「自主防災新聞41号」の中にヒントがあります。

- 問題文(タテ)**
- 江戸時代1854年12月23日に静岡県を襲った地震は○○○○東海地震と呼ばれ、甚大な被害を出しました。
 - 近くに高台がない海岸へ逃げに行つたときには○○○○○の位置を確認しておきましょう。
 - 港や河川に○○○○を造って対策を講じている地域もあります。
 - 青く穏やかな○○も地震が発生すると恐ろしい災害をもたらします。
 - 山間部に住む人たちは、日頃から山崖○○○の危険を知っておきましょう。
 - 地震の○○○○には、一刻も早く救援の手を差し伸べたいものです。
 - 自分の身の安全を確かめたら、周囲の人たちと協力して被災者の○○○○にあたりましょう。
- (ヨコ)**
- パプアニューギニアの地震による○○○○のうち死者は2000人以上でした。
 - 家で一人で○○○○をしているときのために緊急連絡網を用意しておきましょう。
 - 突然起こる地震から身を守るために、12月6日(日)の地域防災○○○○に参加しましょう。
 - 前港などを災害から守るために○○○○が造られています。
 - 東海地震の警戒宣言が発令されると同級無線○○○○や半鐘等知らされます。
 - や半鐘等知られるのはほとんど決まった地域で発生します。
 - 地震は○○○○表面近くのほとんども決まった地域で発生します。
 - 海水浴や○○○○で海へ行つたときも、地震に対する心構えは忘れず。

賞品
正解者の中から抽選で30名様に地震のときに欠かせないライトクロック(即行型懐中電灯)をプレゼント。



クイズの答え

住所

氏名

生年

職業

電話番号

感想等

420-0800

静岡県追手町9番6号
静岡県防災局防災計画室
「自主防災」新聞
防災クイズ係

●応募方法/官製ハガキに左記のように入記のうえをお送りください。
●締め切り/平成10年12月7日(月)まで。当日消印有効。

いつも新鮮な水を 備えておく方法

鈴木敬子さん (磐田市宿町)



家庭内対策のうちでもとくに重要な水の備蓄。しかし水の鮮度をどう保つかが悩みの種ではありませんか。

磐田市の鈴木敬子さんは6、7年前から、常時ペットボトル20本ほどに水を入れて軒下に並べ、毎日、左端のものから花の水やりに使つては、新しい水を入れて右端に置くことを繰り返して、絶えず中の水を新鮮に保っているそうです。

夏場など、古いものは飲料にはなりません。がどのボトルが何日目が一目で分かるの

わが家の防災アイデア募集!

皆さんの自宅のちょっとしたアイデアを教えてください。
住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
「自主防災」新聞紙上で紹介された方には薄謝を差し上げます。

T420-8601 静岡県追手町9番6号
静岡県防災局防災計画室
「自主防災」新聞事務局
防災アイデア係

「富士川河口断層帯の調査結果」



東海地震の震源域と想定されている駿河上川の陸上延長部に、南北に連なる5つの断層帯を総称して「富士川河口断層帯」と呼んでいます。

平成7年度に通商産業省の地質調査所や静岡県が、この断層帯の地質調査やボーリング調査を実施しました。これらを基に、政府の地震調査委員会事務局、科学技術庁がこの断層帯の評価をとりまとめ、平成10年10月14日に発表しました。

【政府の地震調査委員会の評価結果】

■過去の活動について
富士川河口断層帯は、駿河湾内のプレート境界断層に連続している。平均変位速度は少なくとも7m/千年であり、その活動度は日本の中では最大級である。平均活動間隔は千数百年であったと考えられる。最新活動期は千年以上前であった可能性が高い。

■将来の活動について
これらのことから、この断層帯の次の活動は、地



震時の変位量が7m程度またはそれ以上、地震の規模でいうとマグニチュード8程度、震源域は駿河湾内にまで及ぶと考えられる。また、その時期は今後数百年以内の比較的近い将来である可能性がある。

【注】この断層帯のプレート境界は80°N55'Eを向き、長さ約100kmである。

■今後に向けて
活断層調査資料は、現状では質量とも必ずしも十分であるとは言えず、将来の活動を高い信頼度で評価するうえでも限界があり、今後さらに調査研究を充実させる必要がある。

What You Should Do First

津波に注意
「Tsunami」
海일에 주의
注意海嘯

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

If you live near a beach, evacuate to higher ground quickly when you feel either a strong earthquake (Degree 4 or higher on the seismic scale) or a weak but lasting tremor.

강한 지진(진도 4 정도 이상)을 느꼈을 때, 또는 약한 지진이라도 장시간 흔들릴 때는 즉시 해변에서 피하여 서둘러 높은 안전한 장소로 피난하십시오.

当感到强烈地震时(震度4以上),或者即使是轻微的地震,但感到晃动持续时间较长时,要立即离开海边,到高岗或安全的地方避难。

Quem mora perto de praia deve buscar refugio em terreno elevado tão logo sinta um forte abalo sísmico (magnitudo acima de 4 graus) ou um tremor fraco mas prolongado.

自 主 防 災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JISHU・BOUSAI

No.

42

◆企画・編集／静岡県自主防災組織活動推進委員会

◆発行／静岡県防災局 TEL.054-221-3592

平成11年(1999年)3月



最近、私たち静岡県民にとって印象深かった言葉に「歪(ひずみ)計」があります。
まず平成9年2月、藤枝市の「歪計」値の変化が大きく取り上げられ、私たちが不安にさせました。また平成10年10月には清水市の「歪計」値の変化が大きく伝えられ、県民の一部に混乱を招きました。「異常」の二文字と「歪計」値をそのまま目にしたことで、数値のもつ意味を知らない県民の中には、東海地震の前兆現象と受けとめた人もいました。その後の分析で、藤枝の場合は機器の故障、清水の場合は地下水の局所的な変化によるものではないかと考えられています。
気象庁は、今後こうした「変化」東海地震」といった過剰な反応を防

ぐために、平成10年12月、「東海地域の地震・地殻活動に関する情報」を「歪計」値の変化をはじめとする観測結果(データ)を分析したうえで、「解説情報」と「観測情報」に分類して発表することになりました。「解説情報」と「観測情報」——地震に関連する情報とはいえ、これらはあくまで、日常起きている地震・地殻活動の状況報告に過ぎません。そこで今号では、この「解説情報」と「観測情報」をどう受け止めるかについて特集してみました。右に、二つの情報の違いについてまとめてみました。

観測の意味と情報についての詳細は、2・3面を読んで...

東海地震の関連情報

(東海地域の地震・地殻活動に関する情報)

ふだんの生活 (Daily Life) → **観測情報** (Observation Information) → **解説情報** (Explanation Information) → **警戒宣言発令** (Warning Declaration)

観測情報
東海地域の震源域で地殻変動などの変化が観測されたとき、随時変化の様子を分析して公表。
分析中

解説情報
東海地域に起こった地震活動や地殻変動全般についての解説を発表。
報告

警戒宣言発令
準備
判定会招集

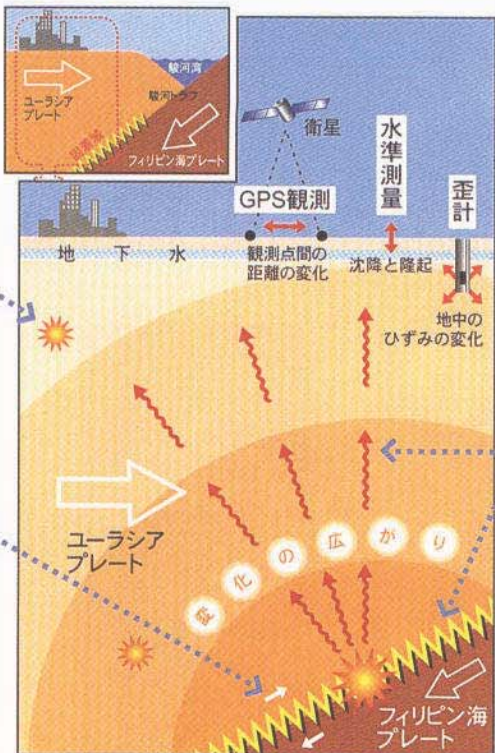
観測情報を読む前に……

「プレートテクトニクス論に基づいた地震の予知観測」

東海地域では、フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下にもぐり込んでいます。この二つのプレートの接触面が、東海地震の震源域になるといわれています。地震に関する情報の中で、しばしば「固着域」という言葉が使われますが、それは、このプレートとプレートの接触面のことを指します。現在はしっかりと張り付いて固着しているために、そう呼ばれているのです。しかし、もぐり込みが進んでエネルギーがたまり、これ以上固着していることができなくなると、固着している部分がはがれて接触面が一気にすべり、地震が起こります。

「東海地震の予知観測の目的は固着域の状態を知ることです」

プレートがもぐり込むほど、固着域にエネルギーが蓄積されます。しかし、無限に蓄積させることはできず、いつかはエネルギーを解放せざるを得ません。そのとき固着域周辺にさまざまな変化が表れるのです。東海地震の予知観測とは、「掛川—御前崎間の水準測量での沈降と隆起」と表現される地盤の上下の変化、GPS観測という人工衛星でとらえる地表の水平の変化、「歪計」による地下の岩盤の伸び縮みの変化、地下水の変化など、さまざまです。そのような観測から、地下深くの固着域周辺でどのような変化が起きているのかを探っているのです。



ここがプレートとプレートの接触面、つまり固着域です。

固着域周辺に起こった地殻変動が伝わって観測されます。

1998年 解説情報

気象庁地震予知情報課の吉田課長に、1998年の1年を振り返って「東海地域の地震活動と地殻変動」についての解説を「解説情報」的にコメントいただきました。

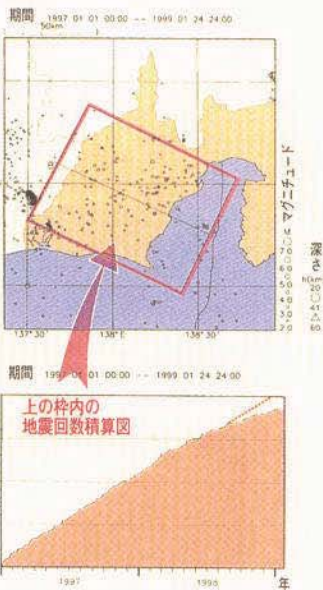
【地震活動】

東海地域の地震活動は1998年の1年間、注目される活動もなく、比較的静かな状態でした。駿河湾内の地震活動は1995～96年にやや活発化しましたが、1998年は落ち着いた状態になっています。とくに秋頃からは駿河湾西岸域の地震活動が低下傾向にあり、気象庁では、今後さらにこの（低下）傾向が顕著になっていくのか、または自然にもの状況に回復してくるのか、推移を注意深く監視していきます。

【地殻変動】

東海地域の地殻変動についても、東海地震との関連で特に注目するような変化は観測されていません。しかし国土地理院および静岡県が実施している、掛川と御前崎間の水準測量結果をみると、1992年頃から少し鈍っている御前崎側の沈降が、依然として鈍ったままとされる状況なので、今後の推移に注目しています。

さて、みなさんは吉田課長の「解説情報」から、東海地域の地震活動と地殻変動が昨年の1998年にはどんな状況だったか、理解できたでしょうか。



テレビ・ラジオで「解説情報」または「観測情報」が流れた。

こんな情報に接しても、あなたは冷静な行動をとって下さい。

見本：観測情報

これは、ひょっとしたらこんな観測情報が出されるかもしれない一例です。

気象庁が〇〇市に設置している体積歪計が、昨日からゆっくりとした縮みの変化を示しはじめています。本日9時までの歪変化の総量は、約 1.0×10^{-7} となっています。

しかし他機関のデータを含め、他の観測点のデータには変化は観測されていません。

現在のところ1点だけの変化ですが、〇〇市の歪計でこのような観測データの変化が観測されたことはこれまでに例がなく、気象庁は他の観測点のデータを含め、注意深く観測を続けることにしています。

なお、現時点において、判定会招集は考えておりません。次の情報発表は、本日の16時を予定しています。



必ずしも判定会の招集にいたる情報ではありません

Observers say that...

ここで東海地震監視の最前線に立つ吉田明夫課長には昼も夜も、平日も休日も存在しません。観測機器が一定レベルの数値を超えたらボケルを鳴らすシステムを組んであるので、夜



▲吉田明夫課長は浜松市出身です。

地震発生時にどんな数値を示すのかを、ある程度、予想していません。監視室には最新機器が配備され、コンピュータが正確な情報を打ち出しています。しかし、それが何を示

「ここは日本のNASA?」

地震発生時にどんな数値を示すのかを、ある程度、予想していません。監視室には最新機器が配備され、コンピュータが正確な情報を打ち出しています。しかし、それが何を示

「ここは日本のNASA?」

東京駅からほど近い官庁街、大手町の一角にある気象庁ビル。何の変哲もないこの庁舎のなかに、東海地震の予知観測データがすべて集まる一室があります。気象庁地震予知情報課

気象庁・観測最前線レポート

中でも容赦なく吉田課長のボケルは鳴り始めます。「私たちは観測データを分析するために、東南海地震や安政東海地震などの過去の地震を参考に、何回度もシミュレーションを行い、

しているかの判断は、過去のデータや研究成果が入れられている、監視担当者や吉田さんのような人間の頭脳が行っているのです。「ロサンゼルス近郊に大きな被害をもたらしたノースリッジ地震やサンフランシスコを襲ったロマリータ地震などは、前兆的な動きがほとんどなかったとも言われています。なにしろ、私たちは前例のないことに挑んでいるのです。」21世紀は宇宙ステーションが建設される、夢が夢でなくなる科学の時代。アメリカのNASAが地球の外側を研究する先端機関なら、気象庁は、地球内部の動きを観測・監視する先端機関です。これから発信される情報を、私たちも科学的な目で見守れるようになり

「観測データには、東海地震に関連する変化だけが現れるわけではありません」

地球の表面は10枚枚のプレートと呼ばれる固い地殻が覆っていて、断層や火山その他の、人間に例えればニキビや切り傷のようなものがいっぱいあります。地球は生きているのでたえず運動し続け、ニキビが腫れたり、傷口が痛んだりを繰り返しています。

地震観測などのデータには、固着域周辺の変化だけではなく、こうした地震・地殻活動のすべてが現れます。そればかりか、潮の満ち引きなどの自然現象や、地下水の汲み上げや工事による振動といった人為的な変化まで現れるのです。

固着域以外の地殻内で起こるさまざまな変化も観測されます

「問題は、すべりが生じているかどうかなのです」

プレートとプレートの接触面にたまったエネルギーが解放されようとするとき、その動きは固着域周辺の変化として観測機器に観測されます。

一つでも観測値が異常な変化を示すと、気象庁で東海地域を24時間監視している担当者たちの緊張度は高まります。プレートとプレートの接触面がすべりはじめていることを疑わなくてはならないからです。

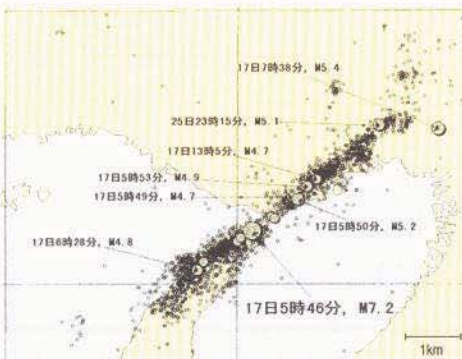
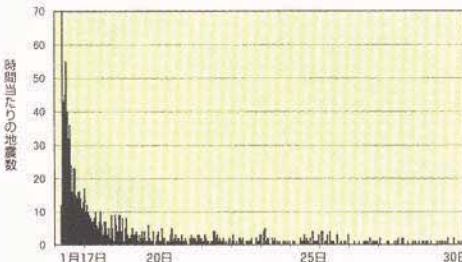
固着域にすべりが生じているかを観測しています

※プレート=地球の表面をおおっている板状のブロック、厚さ100kmくらいの堅い岩石層でできている地幔ト上部で構成され、年間数cmのスピードで移動し、地震発生と深く関連している。

地・震・予・備・知・識

大地震のあとには、地殻のずれによる不安定を解消するために、大小さまざまな余震が繰り返して起こります。1995年の阪神・淡路大震災をもたらした兵庫県南部地震でも、本震直後から余震が頻発し、発生した範囲も下の図のとおり長さ60km、幅15kmに及びました。

「本震-余震型」(1995年の兵庫県南部地震とその余震)



1995年の兵庫県南部地震とその余震の震央分布図【データは気象庁による】M4以上の地震は大きな○で表示しています。

本震のあと、余震が繰り返し発生します。



どうやら「警戒宣言」→「即、避難」と条件反射的に考える人が多いようです。しかし、ほとんどの人は、自宅やオフィスなどで待機するのがいちばん安全なのです。いたすらに外へ出たり、避難しようとするれば、かえって公共機関がマヒしたり、パニックになるだけです。倒壊のおそれがある家屋に住んでいる人たちは避難先を探することも考えなければなりません。他の人たちは、落下・

東海地震の警戒宣言が発令された。なぜ避難するのですか?

なぜ避難するのですか?



気象庁から「観測情報」が出されても必ずしもそれが判定会招集にまでいたるものではありません。だからこそ、いざ判定会が開かれると、たぶん慌てる人が出てくると思います。しかし、地震の専門家から構成される判定会は、さらにデータの变化を詳細に分析する機関

です。判定の結果、警戒宣言が出される場合もあれば、そうでない場合もあるため、私たちは冷静に判定会を見守って行動する必要があります。

東海地震の判定会が招集された。決してあわてる必要はありません

決してあわてる必要はありません

Answer

前号のクイズ

正解は

つなみ
ちゆういでした。

4731通のご応募をいただきました。

正解者の中から厳正な抽選の結果、次の30名様に防災にも役立つ「ライトクロック」をお送りしました。(敬称略)

- | | |
|--------------|--------------|
| 岩附 宣博 (菊川町) | 加藤 宮子 (大井川町) |
| 斉藤小夜子 (芝川町) | 小原 和子 (吉田町) |
| 勝呂 勉 (沼津市) | 鈴木 政男 (相良町) |
| 鈴木 松枝 (河津町) | 吉川由美子 (清水市) |
| 大畑たかこ (清水町) | 荻 鈴子 (浜松市) |
| 朝香 弘美 (土肥町) | 山村 晴美 (吉田町) |
| 田野 和美 (熱海市) | 倉橋 律子 (浜松市) |
| 長谷川国子 (三島市) | 坂田 時郎 (相良町) |
| 渡辺 保 (富士宮市) | 村瀬 中 (浜北市) |
| 伊藤志つ江 (富士市) | 大場 遙悦 (浜松市) |
| 飯塚 末雄 (裾野市) | 三浦 律子 (磐田市) |
| 池谷 喜市 (御殿場市) | 平野千代子 (浜北市) |
| 小澤 栄子 (南伊豆町) | 和田 高次 (島田市) |
| 黒田美恵子 (小笠町) | 伊藤 朱 (清水市) |
| 堀池 洋子 (富士川町) | 平原優美子 (静岡市) |

防災を考えながらクイズに挑戦しよう

防災クイズ

答え

例

①	—	E
②	—	
③	—	
④	—	
⑤	—	
⑥	—	



- | | |
|--------|-----------------------|
| ①観測情報 | A地殻の上下方向の変化 |
| ②固着域 | B岩盤の伸び縮み |
| ③解説情報 | Cプレートとプレートが強くくっついている面 |
| ④歪計 | D人工衛星でとらえる地表の変化 |
| ⑤水準測量 | E東海地震源域のデータの随時変化 |
| ⑥GPS観測 | F東海地域の地震・地殻活動の解説 |

左側のワク①～⑥にあてはまる内容を右側のA～Fより選び、例のように解答欄の□の中に「記入ください。」この「自主防災新聞42号」の中にヒントがあります。

オフロードコレクション防
ラジオリライト



正解者の中から抽選で30名様に、地震のときに役立つ、防滴機能がついたラジオリライトをプレゼント。

賞品

クイズの答え
住所
氏名
年齢
職業
電話番号
感想等

静岡市東区下町9番5号
静岡県防災防災課
「自主防災」新聞
防災クイズ係

応募方法/官製ハガキに左のように記入のうえお送りください。
●締め切り/平成11年3月31日水まで、当日消印有効

●平成11年3月23日(火) 13:00～15:30

●富士市ロセシアター (500人)

●プログラム

講演/山崎晴雄氏 (東京立大学大学院理学研究科教授) による評価の解説
パネルディスカッション/「活断層調査の成果の活用について考える」山崎晴雄氏、室崎益雄氏 (神戸大学都市安全研究センター教授)・藤井俊二氏 (大成建設(株)技術研究所建築研究部地殻研究室長)・川崎信正氏 (静岡放送)ほか

コーディネーター/廣井尚氏 (東京大学社会情報研究所教授)

●主催/科学技術庁 後援/静岡県

●申込み・問合せ/〒101-0064東京都千代田区猿樂町1-5-18

千代田本社ビル5階

(財)地震予知総合研究振興会

地質調査研究センター富士川シンボ係

TEL 03-3295-1501

FAX 03-3295-1507

●参加申込み締め切り日/3月12日(金)



平成10年10月、政府の地震調査委員会は、富士川河口断層帯における地震発生の可能性の評価を公表しました。この評価について防災関係者や地元の方々に理解してもらい、評価を活用する方法を考えるためのシンポジウムが、富士市のロセシアターで開かれます。ふりつてご参加ください。

富士川河口断層帯に
ついてのシンポジウム開催

地震防災センター からのお知らせ

「地震の前兆現象を
集めています」

防災情報研究所

犬が悲しそうに鳴いた、地鳴りが聞こえた、井戸水に変化があった、異常な光や虹を見た...など、大地震の前兆現象は古くから知られています。中国ではこれを「広く観察する」という意味で「宏観異常現象」と呼んでいます。防災情報研究所では、平成8年4月から「宏観異常現象」と考えられるような情報を広く一般から収集しており、平成11年1月末までに62件が寄せられました。内容は、鳥や大・猫の異常行動42件、地鳴り・発光現象27件のほか、地下水の濁り、温泉の温度と成分変化など、中には平成8年3月6日の山梨県東部の地震(M5.8)の前に「ガラスが朝から騒いでいた」というものもありました。寄せられた情報は研究所で整理分析し、インターネットのホームページでも公開しています。みなさんも身近に感知した現象があれば研究所にご連絡ください。



申込み・問合せ先
静岡県防災情報研究所
〒420-0042
静岡市駒形通り5丁目9番1号
地震防災センター内
TEL 054-251-7100
開館時間 9:00～16:00
休館日 毎週月曜日・年末年始
入館料 無料

①耐震診断の状況

平成7・8年度調査 平成9年度



(耐震診断を受ける数) 7,368棟 (診断済み) 710棟 (診断実施) 439棟

②耐震改修の状況

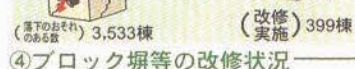
平成7・8年度調査 平成9年度



(耐震改修を受ける数) 7,368棟 (改修済み) 440棟 (改修実施) 305棟

③落下物の改修状況

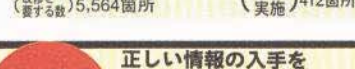
平成7・8年度調査 平成9年度



(落下物おとし) 3,533棟 (改修実施) 399棟

④ブロック塀等の改修状況

平成7・8年度調査 平成9年度



(改修を受ける数) 5,564箇所 (改修実施) 412箇所

県と市町村は、緊急輸送路沿いなどに建つ3階建て以上の建物やブロック塀等を対象に、耐震化の状況を調査しました。平成7年度、8年度には建物14、474棟、ブロック塀11、692箇所等の実態調査を、平成9年度には個別の巡回指導やダイレクトメールによる耐震改修指導を行いました。その結果、耐震診断や耐震改修を実施した建物やブロック塀等は、1割程度というものが判明しました。大規模地震による被害を最小限にとどめるには、県民一人ひとりが耐震化の必要性を認識することが重要です。建物の所有者や管理者、工事を手掛けた施工業者は、ぜひ耐震改修の努力をしてください。建物の耐震診断やブロック塀等の耐震改修には、補助制度があります。補助を受けられるかどうかについては、各市町村建築行政担当課にお問い合わせください。

「まだまだ、1割しか耐震化されていません！」

正しい情報の入手を

●Be sure that the information you receive is correct.
 정확한 정보의 입수 掌握 正確的信息
 Obtenha a informação correta

●テレビ、ラジオの報道に注意してデマにならないようにしましょう。

●Don't listen to rumors.
 Follow the news on T.V. or radio.

●텔레비전, 라디오에 귀를 기울여 소문에 현혹되지 않도록 합시다.

●要注意收看收听电视、无线电广播中有关地震的报道、不要被谣言所迷惑。

●Não dê ouvidos a rumores. Acompanhe o noticiário do rádio ou televisão.

What You Should Do First

自主防災

NO.
43

地震災害に備えるためのコミュニケーション紙
企画・編集 静岡県自主防災組織活動推進委員会

発行 静岡県防災局 TEL:054-221-3592

平成11年(1999年)8月

大切な命、 守るのは あなたです。



83.7%

阪神・淡路大震災における死因のうち、
家屋の倒壊や家具の転倒等による
圧死・窒息死の割合

(資料提供:兵庫県警本部)

あなたの手で
きょうから始める
自主防災。

6,400人以上の命を奪った阪神・淡路
大震災。死因の多くは、**家屋の
倒壊や家具の転倒等による
圧死・窒息死**でした。予想
される東海地震では、静
岡県のほぼ全域が震度
6~7の激しい揺れに

襲われ、固定していない家具は、激しく転倒
します。人も激しい揺れのために身動き
できず、倒れてくる家具を避けることはで
きません。だからこそ**家庭内での日頃
からの「防災対策」**が重要なのです。
静岡県では、県民の皆さんに防災意
識を高めてもらおうと「**命のパスポート**」
を作成しました。このパスポートを
常に携帯し、自主防災に取り
組むこと、それが、あなた
と、あなたの大切な
人の命を守ります。



保存版

地震発生後3分間で命を失わないために

いざという時、日頃の備えが命を守る。

「命のパスポート」を片手に、見直そう、わが家の防災対策。



地震からあなたと家族を守る「命のパスポート」は、わが家の防災対策をわかりやすく解説したテレホンカードサイズのハンドブックです。今年度から学校を中心に配布を始め、最終的に全県民に配布する予定です。いざという時に生死を分けるのは、日頃の備え。「命のパスポート」を片手に、わが家の防災対策を今一度、見直しましょう。

防災対策。



3分



みんな無事か？

●近隣で声をかけあい、家の下敷きになっている人やケガ人はいないか安否を確かめます。避難を始める場合でも隣り近所でグループになって行動しましょう。

ポイント 日頃から近所づきあいを！

近くに火は？

●延焼を防ぐため、出火したら大声で隣り近所に知らせます。
●消火器の貸し借りやバケツリレーができるように、隣り近所の人たちと非常時の協力体制を話し合っておきましょう。

ポイント 自主防訓練への参加を！

3分



火元を確認！

●初期消火後は、ガスレンジやストーブなどの元栓をしっかり閉めましょう。

ポイント 確認項目を紙に書き、台所などに貼っておこう！

家族は大丈夫か！

●大きな地震の時、電話には発信規制がかかります。家族で防災ミーティングを開き、離ればなれになった時の避難場所を確認しておきましょう。
●遠方の親戚や知人の家など家族の緊急連絡先も決めておきましょう。
●あらかじめ決めた場所に貼り紙をし、伝言を残しておくのも一手です。

ポイント 家族ミーティングを！

～2分

が済んだ

山・崖崩れの危険が
される地域はすぐ避難

元を確認！

家族は大丈夫か！

を履く！

常持出し品！

3分

●みんな無事か？

●近くに火は？

大声で知らせる！

消火器を使い！

バケツリレーだ！

●余震に注意！

5分

1分～数時間

ラジオをつける！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

近所の人と声をかけあう！

余震に注意！

●余震によって、壊れかけた壁や建物がさらに崩れ、二次災害を引き起こします。最初の揺れがおさまったからといって安心してはいけません。

ポイント 自宅のフロク線の点検を！日頃から周辺の地理を把握しておこう！



靴を履く！

●壊れた物やガラス片が散乱し、素足ではとても危険。
●底が厚く、くるぶしまで保護されているアウトドアブーツなら安心です。
●就寝の時、手の届くところに靴を置くことを習慣づけましょう。

自宅のガラス飛散防止を！

非常持出し品！

●震災後3日程度は暮らせる生活必需品と救急医薬品を揃えましょう。
●持出し品は丈夫で軽量のデイベックに詰め、玄関や寝室に常備しておきます。
●避難生活が長期になる場合を考えて、「備蓄品」は自宅以外の安全な場所（ガレージや車の中等）にも保管しておきましょう。

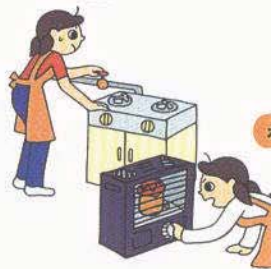
ポイント 日頃からの準備！

予想される東海地震の被害想定



	東海地震	阪神・淡路大震災	
県人口	368.6万人	546.6万人	0.7倍
エネルギー	マグニチュード8程度	マグニチュード7.2	16倍
震度7の区域	約100平方Km	約30平方Km	3.3倍
人的被害(死傷者)	約9万4千人	約4万7千人	2倍
建物被害(大・中)	約45万棟	約21万棟	2.1倍
津波被害	あり 死者約500人	なし	
出典	第2次被害想定(予知なし)	消防庁災害対策本部調べ	

1~2分



落ち着け!

●あわてて外に飛び出したり、ただ果敢としていたのでは、適切な対処はできません。落ち着いた行動を取るためにも日頃から防災意識を持ちましょう。

ポイント 日頃からの防災意識!

身を守れ!

●家の中で身を守る安全な場所(安全地帯)を決めておきます。家具のない部屋等を作っておくとも良いでしょう。
●「潜る・覆う・握る」3つの動作が瞬時にできるように家庭内で訓練を。
●し字金具で家具を固定したり、ピアノの脚に滑り出し防止を施したり、重い物の下敷きにならないようにしておきましょう。

ポイント 耐震診断、家具の固定、家具の配置の工夫!

3秒



ポイント 耐震診断、家具の固定、家具の配置の工夫!

3秒

地震だ!

揺れ

津波、予想

●火

●家

●靴

●非

●落ち着け!

●身を守れ!

●火を消せ!

●玄関を開けろ!

地震からあなたと家族を守る

命のパスポート

静岡県・市町村

※「命のパスポート」についてのお問い合わせは各県行政センターまたは各市町村の防災担当へ

火を消せ!

●台所など火を多く使う所には必ず消火器を設置しましょう。消火用のバケツの置場所も決めておきます。
●食用油火災の場合は、フタをして空気を遮断するか、2~3枚の濡れたタオルを一気にかぶせます。石油ストーブ火災の場合は、毛布などをかぶせて一旦燃え上がりを防ぎ、上から水をかけます。火を使用しているときはその場を離れないのが原則!!

ポイント 耐震遮断弁等の自動消火装置の点検!

玄関を開けろ!

●玄関の戸を開放して脱出口を確保します。激しい揺れによってドアがゆがむと室内に閉じこめられてしまいます。玄関まわりは日頃から、整理しておきましょう。

ポイント 外への脱出口の確保!



ポイント



わが町を守る自主防災組織 その1

地域住民のコミュニケーションを強化して初期消火。

静岡県水落町1区自主防災会は昭和54年に発足しました。同地区は8割以上がサラリーマン世帯のため、昼間は女性・子供・高齢者がほとんどになってしまいます。そんな状況の中でも災害に対処できるように、隣組を主体とした「小さな組織での初期消火」に力を入れていきます。家族構成・血液型・緊急連絡先などを記入した世帯台帳をつくり、日頃から住民相互のコミュニケーションを綿密にして助けあうことを心がけています。また、混乱の中で情報が乱れないように、被害報告などは組長の元にまず届け出るよう本化されています。地域の実情に合わせたコミュニケーション重視策によって、住民間の防災意識も高まりました。井田正会長は、「大地震が来ないからといって防災意識を低下させることなく、今の姿勢を保ち続けたい」と話しています。

静岡市水落町1区自主防災会



●写真上:平成8年度 静岡県知事賞を受賞された水落町1区自主防災会の中心メンバー(左から)杉山福平副本部長、井田正会長、山本米夫防災部長

●写真右:「住宅密集地域なので早期初期消火」と語る井田正会長



地震や水害に備えて住民の防災意識を高める。

裾野市伊豆島田区自主防災会

伊豆島田区自主防災会は昭和50年に結成されました。現在450世帯1,200人が暮らす同地区では、持ち家とアパートの数がほぼ半々。しかし、アパートに住む人の多くは防災への関心が低い傾向にあり、お互いのコミュニケーションがひとつの課題となつていきます。防災訓練では、消火ポンプを使った放水訓練や写真のような立体的な消火器訓練を行い、区と学校の連携によって子供たちも積極的に参加しています。また、婦人会では、包帯の巻き方や止血方法など救急医療の基礎を巡回指導しています。最近では区内の大きな事業所と懇談会を持ち、緊急時の協力体制の検討を始まりました。地震だけでなく梅雨時や台風シーズンには水害の恐れもあるという伊豆島田区。それだけに、住民の防災意識の高揚に力を注いでいます。



●写真左:(左から)藤戸貴美代防災指導員、勝又新江婦人会支部長、岩崎野一區長、山田弘樹地区会長、細川竹幸前區長

●写真右:実践的工夫をした消火器訓練

前号のクイズの答え

正解は

- ② C ⑤ A
③ F ⑥ D
④ B

3926通のご応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

正解者の中から厳正な抽選の結果、次の30名様に防災に役立つ「防演ラジオ」をお送りしました。(敬称略)

- | | |
|-------------|-------------|
| 梨子田えい子(水窪町) | 青木真理子(大仁町) |
| 山本 明美(静岡市) | 榊原佳代子(浜井市) |
| 鈴木あい子(益山町) | 成沢さよ子(掛川市) |
| 池上 純夫(清水市) | 赤堀 遼江(静岡市) |
| 森田 由美(浜松市) | 石田 泰造(焼津市) |
| 土岐 由子(焼津市) | 柴田日出子(菊川町) |
| 野末 すみ(静岡市) | 恒川 淑子(浅原町) |
| 土屋 菊元(下田市) | 安達 光子(小山町) |
| 丹野 尤世(浜松市) | 瀧 智砂子(清水市) |
| 若月 節子(富士川町) | 成瀬 昭雄(高南町) |
| 杉江 好直(浜松市) | 宮崎 茂(三島市) |
| 信士 徳雄(河津町) | 野末 幸作(浜北市) |
| 宮崎 猛(藤枝市) | 浜野富美江(東伊豆町) |
| 西山 友規(富士宮市) | 佐藤 桂(岡部町) |
| 山崎てる代(南伊豆町) | 坂本 邦男(天竜市) |

防災クイズ!!

Quiz

ヨコの問題

- a 石油○○○○の消火には、水に濡れたシーツや毛布をかぶせます。
b 避難の際は、正確な情報を得られるように薄型の○○○○○○を携帯しましょう。
c 非常持出し品を入れておく○○○○は、軽くて丈夫なものが最適です。
d 揺れがおさまったら、隣近所に声をかけ、消火活動など○○○○の精神で協力しましょう。
e ○○○○地震では、阪神・淡路大震災よりも大きな被害が予想されています。
f 煙にまかれた時は、濡れたハンカチや○○を口にあて、姿勢を低くしましょう。
g ○○○○○○にならないよう、古くなった衣類も何枚か非常用として用意しておきましょう。



- A 非常食として高カロリーのもの
B テレビ、ラジオ
C ○○○○の破片は、もともとも多いケガの原因です。
D 余震があることを考え、くずれかけた○○○○や門柱に近寄ってはいけません。
E 家具を固定したり、配置を工夫して、いざという時の逃げ場となる安全○○○○を作っておきましょう。
F ブラケットなら、まず火の始末。台所などは日頃から○○○○を置いておきましょう。

防災知識クイズで身に付く



答え 1 2 3 4 5 6 7 8 9

クイズに答えて素敵な賞品をもらおう!

正解者の中から抽選で30名様に、おしゃれな「ポケットラジオ」をプレゼントします。長寿命電池(スピーカー使用時約65時間)を採用した、震災時の頼れる情報源です。



防災ワードパズル

パズルのタテのA、F、ヨコのa、gのワクに、ひらがな又はカタカナの文字をあてはめてください。□を全部埋めたら1~9の□の中の文字を番号順にならべて、ひとつの言葉を作ってください。

タテの問題

- A 非常食として高カロリーのもの
B テレビ、ラジオ
C ○○○○の破片は、もともとも多いケガの原因です。
D 余震があることを考え、くずれかけた○○○○や門柱に近寄ってはいけません。
E 家具を固定したり、配置を工夫して、いざという時の逃げ場となる安全○○○○を作っておきましょう。
F ブラケットなら、まず火の始末。台所などは日頃から○○○○を置いておきましょう。

クイズの答え

住所
氏名
生年
職業
電話番号
感想等

応募方法

官製ハガキに右のようにご記入のうえお送りください。

締め切り

平成11年9月10日(金)まで。当日消印有効です。

夏休み地震防災イベントのご案内

夏休みには「地震発生!そのために」をテーマに様々なイベントを開催します。子供から大人まで地震防災について楽しくながら勉強をしてみませんか?皆様の参加をお待ちしております。(参加費無料)

楽しく学ぼう! 自主防災の大切さ

子供映画会

子供と保護者のための防災映画会

●良太とヒカリの地震防災学 8月7日(土)

●僕はあの日を忘れない 8月15日(日)

●ちびまる子ちゃんの地震を考える 8月29日(日)

時間/午前の部 11時00分~11時30分
午後の部 14時00分~14時30分

上映終了後には体験コーナー、津波体験コーナーが見学できます。

三三三防災講座

要予約

●地震防災センターの見学と非常食の試食会

開催日/8月21日(土)

時間/13時30分~15時00分

対象/どなたでも参加できます。

定員/各回50名(予約受付先着順)

電話での予約が必要です。

自由研究相談

小・中学生を対象に、地震や防災についての資料提供や、質問にお答えします。

夏休み期間中の9時~16時

(ただし月曜日は休館日です)

地震・火山の理解と防災教育に関するシンポジウム開催

伊豆半島周辺の地震・活断層・火山を題材として、地震・火山の基礎知識をやさしく解説した上で、よりよい防災教育のあり方を考える公開シンポジウムを開催。児童生徒がパネリストとして参加するパネルディスカッションも行います。ふるって参加ください。

山崎晴雄(東京理科大学教授)「活断層って何だろう」

講演 山崎晴春(名古屋大学助教授)「地震はなぜ起きるのか」

小山真人(静岡大学助教授)「火山の見つけ方、つきあい方」

パネルディスカッション「災害理解の文化をつくらう(仮題)」

コーディネーター 中川和之(静岡県消防局局長)

- 平成11年8月21日(土) 12時30分~17時
- 高南町中央公民館(高南町上沢81 伊豆箱根鉄道大塚駅から徒歩10分)
- 対象:一般市民ならびに児童生徒(小学生高学年以上)
- 定員:600名(先着順)
- 参加費:無料 申し込み不要
- 主催:日本地震学会・日本火山学会 後援:静岡県、高南町、静岡県教育委員会、高南町教育委員会
- 詳細情報:ホームページを参照 <http://sk01.ed.shizuoka.ac.jp/koyama/fzu/index.html>



申し込み・問い合わせ先
静岡県地震防災センター
〒420-0042
静岡市駒形通り5丁目9番1号
TEL054-251-7100
開館時間 9:00~16:00
休館日 毎週月曜日、年末年始
入館料 無料
<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp>

地震防災に関するポスターを大募集します。

対象/県内在住または在学の小・中学生
作品/四つ切り以上の白画用紙の裏に
学校名・学年・住所・氏名・電話番号を明記し各県庁
政センターへ郵送または持参してください。(作品に
は必ずタイトルを付けてください。)

応募者全員に記念品を差し上げます。優秀な作品は
11月23日の自主防災活動推進大会の中で表彰さ
れます。



正しい情報の入手を

Be sure that the information you receive is correct.

정확한 정보의 입수 掌握准确的信息

Obtenha a informação correta

テレビ、ラジオの報道に注意してデマにまどわされないようにしましょう。

Don't listen to rumors. Follow the news on T.V. or radio.

텔레비전, 라디오에 귀를 기울여 소문에 현혹되지 않도록 합니다.

要注意收看收听电视、无线电广播中有关地震的报道，不要被谣言所迷惑。

Não dê ouvidos a rumores. Acompanhe o noticiário do rádio ou televisão.